Ⅰ．「支援教育」になり　6年が経ちました。　下記の「支援教育」に深い関わりのある事柄についてご存じですか？知っている事柄全てに○をつけてください。

	地域	相模原市						神奈川県（相模原市を除く）				県外
	学校・学級の種類	未就学	小学校		中学校		特別支援学校	未就学	小・中学校		特別支援学校	全て
			支援級	普通級	支援級	普通級			支援級	普通級		
	回答者数	4	89	8	32	2	23	5	22	6	3	13
1	支援教育	2	58	8	22	2	13	2	17	4	2	11
2	合理的配慮	0	12	0	6	1	2	0	6	1	1	8
3	個別の指導計画	2	62	8	23	1	19	2	17	2	2	11
4	個別の教育支援計画	2	40	4	18	1	18	0	14	2	1	10
5	特別支援教育コーディネーター	3	39	7	21	2	9	0	12	1	2	10
6	巡回相談	2	16	3	8	1	7	2	9	2	2	8
7	校内委員会	0	7	1	4	0	4	0	3	1	0	8
8	インクルーシブ教育	1	17	0	6	0	8	1	4	1	2	9
9	交流および共同学習	3	40	4	14	0	11	1	10	2	1	6
10	教科用図書	0	26	0	14	0	6	0	4	0	2	4
11	わからない（知っているものがない）	0	11	0	4	0	1	3	3	1	0	0

Ⅱ．現在、受けている「支援教育」についてお聞きします。

1．「支援教育」に満足していますか？当てはまるものに１つ○をつけてください。

	地域	相模原市						神奈川県（相模原市を除く）				県外
	学校・学級の種類	未就学	小学校		中学校		特別支援学校	未就学	小・中学校		特別支援学校	全て
			支援級	普通級	支援級	普通級			支援級	普通級		
	回答者数	4	89	8	32	2	23	5	22	6	3	13
1	満足している	3	13	2	2	0	8	0	1	2	1	2
2	やや満足している	0	37	2	15	0	9	1	8	1	1	3
3	あまり満足していない	0	32	2	12	0	4	1	8	2	1	1
4	満足していない	1	6	1	3	0	0	0	5	1	0	7

2．１の選択肢①，②を選んだ方にお聞きます。あなたが満足している理由はなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

	地域	相模原市						神奈川県（相模原市を除く）				県外
	学校・学級の種類	未就学	小学校		中学校		特別支援学校	未就学	小・中学校		特別支援学校	全て
			支援級	普通級	支援級	普通級			支援級	普通級		
	回答者数	4	89	8	32	2	23	5	22	6	3	13
1	自分のニーズに応じた支援・指導内容だから	2	16	1	5	1	8	0	3	0	1	3
2	就学前・小学校時代(中学時代)から希望していた教育内容だから	2	5	0	3	1	5	0	1	0	0	1
3	教員の専門性があるから	2	4	1	2	0	10	0	3	1	1	2
4	教員の接し方が良いから	2	27	3	11	1	13	0	6	2	1	3
5	教員が熱心だから	1	27	1	10	1	12	0	3	2	2	4
6	教員の人権意識が高いから	1	5	0	3	1	6	0	1	0	2	1
7	家族を含めたトータル的な支援があるから	1	5	3	1	1	3	0	2	0	1	1
8	必要な施設・設備の整備が十分にされているから	1	4	0	1	0	7	0	0	0	0	0
9	施設のバリアフリー化が十分にされているから	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
10	関係機関と連携がよいから	0	2	2	0	0	3	0	2	0	1	1
11	必要な教材・教具が充実しているから	0	4	1	0	0	4	0	0	0	0	0
12	障害に対する友人の理解(子どもの)があるから	1	15	0	4	0	3	0	3	0	1	1
13	体験学習が充実しているから	0	4	0	1	1	7	0	3	1	1	1

14	交流及び共同学習が充実しているから	2	14	0	4	0	2	0	2	1	0	0
15	ホームルーム活動で自ら生き方に関する進路学習や進路についての相談・支援が充実しているから	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1
16	支援教育学習指導補助員等の外部人材が配置されているから	0	2	0	1	0	2	0	0	1	0	1
17	同年齢の子どもと学ぶことができるから	0	18	0	8	1	2	0	2	1	1	2
18	必要な情報を得ることができるから	0	2	0	2	0	5	0	0	0	2	0
19	その他	0	4	0	0	0	1	0	1	0	0	1

■「その他」の意見

小学校支援級	・ニーズに応じた指導を受けているか・・・？正直、恵まれている方だと思う
	・保護者の意見をきいてくれる
	・新しい先生が来て　きちんとやってくれる
	・他学年との関りがある
	・しいていえば、ということです。満足はしていないが自分が希望したことは取り入れてくれるようになってきたので。
特別支援学校	・子どもの状態によってはひとりで授業を受けるなど、臨機応変に対応してもらっているから。
不明	・小・中と通常級でいろいろ悩んだが、今は前向きに学ぶ環境がある（町田市）

３．　２の選択肢⑭を選んだ方にお聞きします。交流及び共同学習を経験して何が変わりましたか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。

地域		相模原市						神奈川県（相模原市を除く）				県外
学校・学級の種類		未就学	小学校		中学校		特別支援学校	未就学	小・中学校		特別支援学校	全て
			支援級	普通級	支援級	普通級			支援級	普通級		
回答者数		4	89	8	32	2	23	5	22	6	3	13
1	障害に対して他の子どもや保護者の理解が深まった	2	8	0	2	0	1	0	0	0	0	0
2	地域に友達が出来た	0	9	0	2	0	0	0	1	1	0	0
3	障害のない仲間と積極的に交流する力がついた	1	11	0	1	0	1	0	1	1	0	0
4	特にかわらない	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	その他	1	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0

■「その他」の意見

未就学	・先生や保護者方みなさん平等に接してくださいます。
小学校支援級	・障害を持っている子でも『できること』を周りにも本人にも意識できている
	・５年からの交流のためまだ実感がないが、少しずつ③の力がついてきた。
	・障害のない子が普通にしていることをだいぶ真似してできるようになり良い影響を受けている。
	・子どものありのままの姿をみんなが知ってくれ優しくもされるが注意もされ子ども自身の意識も「みんなの中で自立」していく感じでたくましくなったと思います。
特別支援学校	・活動中の子どもたちの表情がとても良い。
	・支援学校に通っています。地域の中学校にうちの子どもの存在を知ってもらえた。

４．　２の選択肢⑭を選んだ方にお聞きします。今後どのような交流及び共同学習を行われることを望んでいますか。下記に記入してください。

未就学	・周囲の偏見がなくなるよう、交流を積極的に行い、子供たちにもハンデを持った人達への教養を深めてほしい。
小学校支援級	■交流の機会への期待
	・支援級の中だけではなく、もっともっと交流級のお友達と接して数多くのお互いが成長できるといいです。
	・健常者の子ども達と一緒に学習する機会を設けることが成長につながっているように感じるので、引き続き交流・共同学習を続けて欲しい
	■交流のあり方
	・将来、社会に出て困らない様なコミュニケーションを身につけさせたい。
	・本人の無理のない範囲での参加
	・当たり前に交流級の隣の席に（支援級の子が）いて、交流級に出席簿やロッカーなど言わなくてもあって当たり前になるようにしていただきたいです。
	■支援・介助の仕方
	・交流級の先生たちも交流できる授業などの時は、声をかけていただきたいです。
	・理想は、「支援級」という考えではなく、普通級に在籍して、難しいところだけ介助員さんがついてもらったり、支援級へ行って勉強する形の方が、社会性や仲間意識の面で良いのではないかと思う。
	・修学旅行へ行きました。怪我もなく、無事に楽しく帰ってきたのですが…旅行中の写真には、同行してくれた支援級の先生とのツーショット写真ばかりでした。もっと、距離を置いた見守りの教育を望みます。
	・不安・心配で子どもが付き添いをお願いした時は、先生の出来る範囲で気持ちが落ち着くまでの配慮をしていただけたらと思います。
	・子どもが自分から他の子と積極的にかかわり、コミュニケーションがうまくとれるようにして欲しい。

	・同学年の学習ができる子どもなので、自立で行けるところは、自立で交流授業で学び、必要な支援を補助の手を借りながら育てていき自立へと結びつけていく授業参加を小学校ではしていただいている（ので進学先も同様にしてほしい）。
	■就学・進学への不安
	・小学校を卒業してから、つながらない中学の支援や交流のあり方は問題だと思う。
	■学校体制・学校ルール－人手不足
	・交流の時、見守ってくれる専任の先生がもっといるといいです。
	■学校体制・学校ルール－インクルーシブの理解
	・「インクルーシブ」と言葉で言ってもわかりませんが、隣に障害を持つ子が当たり前にいて一緒に育つことで、身をもって理解できるのだと思います。逆に、学校側が「交流は出来ない」と壁をつくれば、大人がしていることをみて、子どもが「インクルーシブ」の意識が育つことはないとおもいます。
	■学校体制・学校ルール－個々に応じた教育
	・「自立で行けないと交流は出来ない」というのではなく子どものニーズに応じて育てることを交流においても必要。
	・「個々に応じて」をきちんと見極めて、子どもや家庭の考え方に応じて、交流をする必要がある。
	・「個別指導計画」をきちんと保護者を交えて話しあい作成し、実行するために保護者へ配布することは重要。
	・どの先生が支援級の担任になっても、どこの学校の支援級に行っても、偏りなくきちんと個々に応じた支援教育が受けられるように、一刻も早く体制を整えて欲しいと思う。子どもは、障がいがあっても無くても、同年齢の子どもと一緒に生活していく中で、お互いに刺激し合い、成長し、理解を深める事が出来ると思います。可能な限り、交流学習、共同学習を積極的にするべきだと思う。
	・交流に関する理解は先生方もしてくださっているようだが、高学年になるにつれて、交流できる時間（授業）が減ってきている。
	・我が子が１年生だった頃、「〇〇級の子だ」「〇〇級の子だからできない」　「〇〇級だからバカ」といわれたことがあります。約６年の交流を通して感じるのは、今、うちの学校では少なくとも我が子の学年では「〇〇級はバカ」と（面と向かって）いうおこさんがいないのは、我が子が交流することで「できない・苦手な面」だけではなく「できる面」もご理解いただいていることお子さん達が、わかってくれることどういう風に手を貸すと我が子が助かるのか、無理をせずにわかって動いてくれる（そこにいるのが当たり前になっている）ことが大きいと思います。
	・現状、満足しています。（その子らしく）接し続けてくれることがとても嬉しいです。
	・このまま、友達の中で地域の中で生きていく力と存在感を身につけていけたらいいと思います。まだ、まわりのみんなは、「障害」ととらえず「〇〇が苦手」「いつも△△なかんじ」「どうして××くんは、すぐできないの？」「どうして××くんはいつも☆☆しているの？」と子どもなりに個性ととらえてかかわってくれています。みんなから質問を受けたときは、子どもにわかりやすい言い方で伝えられるように考えて伝えています。「××くんは、障害者なの？」「病気なの？」ときかれたときも、きちんとその子が納得するように話しています。（手応えでしか判断できませんが（笑）友達が、このように子どもや障害児に興味？をもってくれ、あたたかく（その子らしく）接し続けてくれることがとても嬉しいです。
市内特別支援学校	・合同でのお祭り、ミニ運動会、ミニ工作など。
	・中央支援学校に通っています。居住地交流で地域の中学校に昨年より行っています。うちは、学期ごとに１回行きます。ただ受け入れる中学の支援級の先生の度量、技術力、指導力により、交流ができないという例も他で見られました。居住地交流の制度を活用し進んで地域に出られるよう、学校間、先生との間で連携を深めてほしいです。地域の学校の先生の「支援学校に行く子たちのレベルは低い」的な見方や意識を変えていただけるともっと交流できるのにと思います。
県内支援級	■交流の機会への期待
	・本人の学力がついていく限り交流級で同学年の子供達と一緒の学習をしてほしい。（小）

５．　１の選択肢で③．④を選んだ方にお聞きします。満足でない理由は何ですか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。

地域		相模原市						神奈川県（相模原市を除く）				県外
学校・学級の種類		未就学	小学校		中学校		特別支援学校	未就学	小・中学校		特別支援学校	全て
			支援級	普通級	支援級	普通級			支援級	普通級		
回答者数		4	89	8	32	2	23	5	22	6	3	13
1	自分のニーズに応じた支援・指導内容がもっと必要だと思うから	0	21	1	12	1	2	1	9	3	1	6
2	未就学・小学校(中学校)時代に希望していた教育内容とは違うから	1	7	0	8	0	1	0	3	0	0	3
3	教員の専門性がないから	1	18	1	14	0	3	1	12	2	1	5
4	教員の接し方がよくないから	0	12	1	6	0	2	0	6	0	0	3
5	教員が熱心ではないから	0	8	1	7	0	2	0	5	0	0	3
6	教員の人権意識が高くないから	0	8	1	5	0	2	0	4	0	1	5
7	家族を含めたトータル的な支援がないから	1	6	0	6	0	1	0	3	1	0	1
8	必要な施設・設備の整備が十分ではないから	0	10	0	3	0	0	1	4	0	0	3
9	施設のバリアフリー化が十分ではないから	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
10	関係機関と連携がよくないから	1	9	1	4	0	2	0	10	0	0	5
11	必要な教材・教具が充実していないから	0	8	0	4	0	1	1	5	0	0	5
12	障害に対する友人の理解(子どもの)がないから	0	10	1	3	0	0	0	5	3	0	2
13	体験学習が充実していないから	0	3	0	3	0	2	0	2	0	0	0
14	交流及び共同学習が充実していないから	0	14	0	5	0	1	0	2	0	0	1

15	ホームルーム活動で自ら生き方に関する進路学習や進路についての相談・支援が充実していないから	0	5	0	1	0	0	0	3	0	0	2
16	支援教育学習指導補助員等の外部人材が配置されていないから	0	10	0	3	0	1	0	6	1	0	5
17	同年齢の子どもと学ぶことができないから	0	6	0	3	0	1	0	1	0	0	0
18	必要な情報を得ることができないから	0	10	1	5	0	0	1	3	2	0	4
19	その他	0	8	1	1	0	0	1	1	1	0	1

■「その他」の意見

未就学	・子どもはダウン症です。療育施設では発達障害の子の療育がメインで、知的障害を持つうちの子のような子どもは放っておかれている感じがします。
小学校支援級	・先生がころころ変わる良い先生にあたっても限られた時間で思うように対応してもらえない。教育に計画性があるか疑問。たまたま担当になり誠心誠意対応してくれる先生がどれだけいるのか？
	・人手不足
	・先生が一生懸命やってくれるので、要求出来ず困っている。
	・昨年まで３時間目に２５分間毎日アニメを見ていた。年度末に各方面に訴えて改善された。相談機関が欲しい。
	・タイプの違う子どもをひとつの教室で見ることもどうかと思う。パーテーションなどで仕切ることもしてくれない。
	・校内の連携不足
	・時間割の内容について少し不満がある。
	・現在の状況で子どもに対して何をどうしていけば将来に役立って行くのかがもうひとつわからない。
	・学習面において特にまだ不足しているように思う。
	・進路についても分からない状態です。
	・教員によって差がありすぎる。入学してから今まで、落ち着いて過ごせず、今年度は、毎日親が学校に（授業に）付き添うことが多く負担に思う。
小学校普通級	・支援級は学校・先生によって全く違う指導内容。
	・特別な支援を受けていないため。
中学校支援級	・障害を理由に学校での活動(交流・部活動など)や登校を規制され、技能科の授業を受けることも禁止されたりしたから。
	・交流で全て活動したいので、参加できる方法を議論してほしい。
	・人手不足
特別支援学校	・保護者から見て一部問題ありの教員がいる。
不明	・通級の制度がない。支援員がいない。LD・ADHDの発達障害の子どもを受け入れるクラスがない等、制度上問題が多いです。(千葉県)

６．　５の選択肢⑭を選んだ方に聞きます。今後　どのような交流及び共同学習が行われることを望んでいますか。下記にご記入ください。

市内小学校支援級	■個々に応じた適切な交流
	・もともと通常級にいたので、支援級からの交流は、子どもが希望した場合取り組んで欲しいと思う。
	・どの教科でも良いので、その子どもにあった教科の交流級の授業参加をさせていただきたいと思います。
	・交流では、本人の力に応じた学習をする。
	■支援のあり方・工夫
	・子どもの特性を理解した支援と介助、視覚優位の子どもであればノートにキーワードを示すなど、きめ細やかな介助が必要
	・（体育）たぶんついていけないと思うではなく一度や二度行かせて様子をみてほしい。
	・事前準備を十分にしてから交流へ行く。
	■人手不足
	・交流の時に、介助の先生がついてきてくれることを望みます。「普通級へ行くときに、一人で行けるいけるようにならないと、いかせてあげられない。」って一人でできないから支援級なのに、これでは、いつになっても交流できない。普通級の授業でも、見守ってくれる先生がいてくれると良いと思う。
	・交流へ行くときは支援級の先生がついて行くため、やはり人手不足であり先生方や他の支援級のお子さん達の予定を考慮しないと難しい状況です。支援級の生徒の数だけ先生や補助の方の配置するのは難しいかもしれませんが、子どもが交流参加を望んでいてもかなわない場面が多いのは残念です。
	・介助員の人数が足りなく、交流に行ける授業内容であっても行けない。
	■普通級の理解
	・一緒に出来る内容が難しいと思いますが・・低学年のうちに通常級から支援級に数名ずつ参加する形で支援級というところがどんなところかをわかっていけるような校内プログラムがあればと思います。
	・交流の担任に、障害や支援について知識をもってもらう。
	・交流の子が、もっと支援級に関わって欲しい。兄弟学級のように授業以外の場面等。
	■地域・社会の理解
	・知的に低いとなかなか交流学習にはいけませんが、相互で理解をすすめる機会を小さいうちからつくって、この先、支援級の子どもが地域で支えられるような社会になればと思います。
	■教師同士の理解
	・支援級と交流級の教師同士の話し合いが充実すること。
	・交流級の先生と支援級の先生の理解の元、本人が参加出来るものは、積極的に参加していきたい。支援級の先生が交流できてない。

	■学校全体の理解
	・学校全体として、支援級の子どもの理解が低い（関わりが少ないため？）
	■進学（交流）
	・中学へ入学した後、交流がほぼないと聞きます。中学校でも交流・共同学習の充実をさせてほしい。
	■その他
	・子どもが「理解したい」より「遊びたい」から一緒に出来ない！
	・うちの子は、６年生になりますが、「理科」や「社会」がどんな授業か 全くわかりません。
	・支援級に在籍していても希望があればすぐ条件無しで、普通級在籍に移すことを望みます。
	・施設面でも雨などが降ると他棟にある移動教室での授業が受けることができない。
市内中学校支援級	■子供の理解
	・交流する事によって通常級の生徒達に障害のある子供の事を理解してもらいたい。良い所を見てもらいたい。
	■交流の希望
	・一学科（科目）単位なく、本人が学習したいと望む単元や、授業中でもストレスが少なくなった時点での参加など、フレキシブルな交流ができれば、と思います。
	・出来ることだけ参加するのではなく、出来ないことを支援しつつ、いつでも参加できるようにしてほしい。同じ支援級の子が行けないから行けないというのは、どんなものか？空きの先生や介助員のやりくりでどうにかならないのか？親への理解も必要では？
	・交流にひとりで行かされる。そのため、本人によく内容が理解されず、教員からは『寝ている』と言われる。１日２０分でもいいから交流に付き添ってほしいとお願いしているが、学校はできない理由ばかりを挙げ連ね、建設的な議論ができないため大変困っている。そもそも知的の子に介助がつかない理由がわからない。知的の子に介助が付かないのが正当なら、通常級の教員がきちんと指導すべきではないだろうか
	・通知表に交流の記載が全くない。交流及び共同学習の様子が全くわからない。学校は交流及び共同学習は、支援級在籍児の中学校生活ではないと判断しているようだ。しかし、もちろん交流も含めてうちの子の中学校生活であるのは間違いない。通知表には『交流の時間と重なってしまい、ほとんど参加していませんが』で始まる教科が４つもある。校長以下、問題意識がないことが問題だと考える。
市内支援学校	・職業体験学習の幅を広げてほしい。やってみないとわからない事が沢山あると思います。
県内支援級	■支援・指導の工夫
	・各担任の密度の濃い連携（カリキュラムのこと、指導内容のこと、支援について同じ目的意識をもって、子どもを見ていける）その為に必要な配慮、支援＋人手、お互いの敷居をもう少し低いものにして　個々のレベルに差があっても上手く交流していける配慮が出来るこ
	・もっと個別でいろいろやってほしい。（小）
	■個々に応じた適切な交流
	・交流に関して消極的な小学校なので、同年齢の子供と学ぶ機会が少ないです。支援級の子供が、希望しているならば、積極的に普通級の先生方は受け入れてあげて欲しいです。（例えば、この単元なら学習できそうだという判断を支援級の先生と連携をとりながらその都度、交流の判断をしてもらいたい。（小）
県外	・「交流」という言葉を使うことには違和感を覚えます。お客様扱いされています。障害の有無によらず、個々の児童に必要な学習や活動が受けられるように固定の支援級ではなく、全員、普通級在籍として、特別な支援が必要な児童にあった指導方法、また、人がつくような体制が理想です。支援教室の利用なども有効と思います。（東京都　小学校　支援級）

Ⅲ．「個別の指導計画」についてお聞きします。

１．「個別の指導計画」がありますか？

地域		相模原市						神奈川県（相模原市を除く）				県外
学校・学級の種類		未就学	小学校		中学校		特別支援学校	未就学	小・中学校		特別支援学校	全て
			支援級	普通級	支援級	普通級			支援級	普通級		
回答者数		4	89	8	32	2	23	5	22	6	3	13
a	ある	2	72	0	25	0	22	1	18	0	3	10
b	ない	2	17	6	5	2	0	0	4	5	0	3

２．１でａと答えた方、「個別の指導計画」を作成する為の面談時間が設けられていますか？

地域		相模原市						神奈川県（相模原市を除く）				県外
学校・学級の種類		未就学	小学校		中学校		特別支援学校	未就学	小・中学校		特別支援学校	全て
			支援級	普通級	支援級	普通級			支援級	普通級		
回答者数		4	89	8	32	2	23	5	22	6	3	13
a	ある	2	58	0	23	0	21	1	11	0	3	7
b	ない	0	18	1	2	0	0	0	9	1	0	3

３．２で⓪と答えた方　「個別の指導計画」を保護者に配布してもらえますか？

地域		相模原市						神奈川県（相模原市を除く）				県外
学校・学級の種類		未就学	小学校		中学校		特別支援学校	未就学	小・中学校		特別支援学校	全て
			支援級	普通級	支援級	普通級			支援級	普通級		
回答者数		4	89	8	32	2	23	5	22	6	3	13

a	ある	1	54	0	19	0	20	1	7	0	3	7
b	ない	1	7	1	4	0	1	0	5	1	0	3

■ひとこと

支援級	・但し、小学校の時。中学校ではまだもらってないです。

4.　3でⓐと答えた方　「個別の指導計画」の満足度は？

地域	相模原市						神奈川県（相模原市を除く）				県外
学校・学級の種類	未就学	小学校		中学校		特別支援学校	未就学	小・中学校		特別支援学校	全て
		支援級	普通級	支援級	普通級			支援級	普通級		
回答者数	4	89	8	32	2	23	5	22	6	3	13
1　満足	1	19	0	2	0	14	0	1	0	1	2
2　やや満足	0	31	0	10	0	8	0	4	0	1	3
3　あまり満足していない	1	7	0	5	0	0	1	6	0	0	1
4　満足していない	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1

■ひとこと

支援級	・お願いするまで作っていないので、「ある」というだけでやや満足(千葉県)

5.　1．2．3でⓑと答えた方　面談の時（話し合いの時）に「個別の指導計画」が机上においてありますか？

地域	相模原市						神奈川県（相模原市を除く）				県外
学校・学級の種類	未就学	小学校		中学校		特別支援学校	未就学	小・中学校		特別支援学校	全て
		支援級	普通級	支援級	普通級			支援級	普通級		
回答者数	4	89	8	32	2	23	5	22	6	3	13
1　ある（見せてもらっている）	0	26	0	12	0	11	1	3	0	1	3
2　あるが見たことはない	0	5	1	0	0	0	0	2	0	0	1
3　机上にはない	0	6	1	3	0	0	0	4	2	0	5
4　机上にあることを知らない（わからない）	2	11	1	4	1	0	0	1	2	0	1
5　その他	0	5	1	2	0	0	0	1	1	0	0

■その他の意見

小学校支援級	・要望すれば出てくる。
	・面談自体がない。
	・まだ出来ていない。
	・まだ面談をしたことがないのでわからない。
	・まだ作成中とのこと。
小学校普通級	・特別な支援を受けていないので個別指導計画はない。
中学校支援級	・個別教育計画を指導計画と言い張る。
	・中一だからまだわからない。
不明	・見せて欲しいとお願いし見せてもらった。
	・1年生の時に、そのようなものがあったような気がします（中身を見ています）。
	・作っていないとはっきり言われた。忙しいという理由で。「作って下さい」というと「検討します」とだけ言われた。

Ⅳ.　「個別の教育支援計画」についてお聞きします。

1.　活用について

地域	相模原市						神奈川県（相模原市を除く）				県外
学校・学級の種類	未就学	小学校		中学校		特別支援学校	未就学	小・中学校		特別支援学校	全て
		支援級	普通級	支援級	普通級			支援級	普通級		
回答者数	4	89	8	32	2	23	5	22	6	3	13
1　活用されている	2	39	0	12	0	19	1	6	0	2	4
2　活用されていない（わからない）	1	48	4	19	0	4	0	13	4	1	9

２．　１で、①活用されていると答えた方にお聞きします。満足度は？

地域		相模原市						神奈川県（相模原市を除く）				県外
学校・学級の種類		未就学	小学校		中学校		特別支援学校	未就学	小・中学校		特別支援学校	全て
			支援級	普通級	支援級	普通級			支援級	普通級		
回答者数		4	89	8	32	2	23	5	22	6	3	13
1	満足	1	5	0	3	0	8	0	0	0	1	1
2	やや満足	0	21	0	5	0	9	0	4	0	1	2
3	どちらでもない	1	10	0	2	0	1	1	1	0	0	1
4	やや不満	0	3	0	1	0	0	0	1	0	0	0
5	不満	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0

Ⅴ．　支援教育として「校内体制」についてお聞きします。

１．　「校内体制」が整っていると感じますか？

地域		相模原市						神奈川県（相模原市を除く）				県外
学校・学級の種類		未就学	小学校		中学校		特別支援学校	未就学	小・中学校		特別支援学校	全て
			支援級	普通級	支援級	普通級			支援級	普通級		
回答者数		4	89	8	32	2	23	5	22	6	3	13
1	整っている	1	23	1	3	0	16	0	5	2	2	2
2	どちらでもない	1	43	3	15	0	4	0	7	2	1	3
3	整っていない（わからない）	2	22	5	13	1	1	2	7	2	0	8

２．　下の中で利用したことがあるものに○をしてください。

地域		相模原市						神奈川県（相模原市を除く）				県外
学校・学級の種類		未就学	小学校		中学校		特別支援学校	未就学	小・中学校		特別支援学校	全て
			支援級	普通級	支援級	普通級			支援級	普通級		
回答者数		4	89	8	32	2	23	5	22	6	3	13
1	特別支援コーディネーター	0	13	3	2	1	1	0	2	1	0	6
2	巡回相談	0	5	2	2	1	2	0	10	2	0	4
3	校内委員会	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
4	どれもない	3	67	3	25	0	16	1	9	4	3	4

小学校普通級	・巡回相談…学校へ週１回来校するスクールカウンセラーの先生との面談において、担任と連携をとってもらい、進めている。
不明	・学校訪問相談員（県内）
	・特別支援教育コーディネーターは名前だけ。(愛知県)

Ⅵ．　「教科用図書」についてお聞きします。（支援学校及び支援級在籍のお子さんのみ）

１．　お子さんが使われている教科書は　どれですか？

地域		相模原市						神奈川県（相模原市を除く）				県外
学校・学級の種類		未就学	小学校		中学校		特別支援学校	未就学	小・中学校		特別支援学校	全て
			支援級	普通級	支援級	普通級			支援級	普通級		
回答者数		4	89	8	32	2	23	5	22	6	3	13
1	文部省検定教科書（同学年）	0	44	2	11	0	0	0	9	4	0	6
2	文部省検定教科書（下学年）	0	13	0	3	0	0	0	6	0	1	0
3	文部省著作教科書（星本）	0	4	0	3	0	1	0	0	0	0	1
4	学校教育法附則９条による一般図書（絵本など）	0	21	0	6	0	6	0	3	0	2	0
5	教科書はない（わからない）	2	15	0	10	0	13	0	6	0	0	4

6	その他	0	8	0	4	0	3	1	1	0	0	0

小学校支援級	・今はわからない。
	・国語の音読みは下学年の教科書。あとはプリント。
	・あゆみが遅い子専用の教科書（2名）
	・プリント（3名）
	・先生が選んでいるからわからない。
中学校支援級	・ドリル（2名）
	・プリント（2名）
	・個々に教科書を使用して授業をしていない。
	・教科書はあるがほとんどプリント学習。それも意味の無い学習。
	・時々使用。
特別支援学校	・学校が用意した図書。
	・一部検定教科書。
	・中学で配布された教科書は全く使用されないまま持ち帰った。
	・子どもの知的レベルに合わせた絵本を購入して頂いているようですが、授業は体感遊びが多いので使っていません。
	・音の出る絵本。
不明	・プリント中心
	・小学校の時は、使っていたが中学ではわからないです。
	・+ディジー教科書(千葉県)

2.　.お子さんの教科書について　お子さんに適していると感じていますか？

地域		相模原市						神奈川県（相模原市を除く）				県外
学校・学級の種類		未就学	小学校		中学校		特別支援学校	未就学	小・中学校		特別支援学校	全て
			支援級	普通級	支援級	普通級			支援級	普通級		
回答者数		4	89	8	32	2	23	5	22	6	3	13
1	適している	0	30	1	6	0	5	0	5	2	1	2
2	どちらでもない	0	31	0	12	1	5	0	7	2	1	2
3	適していない（わからない）	1	24	0	12	0	9	1	9	1	0	4

Ⅶ.　仕事をしている方にお聞きします。

1.　学童について

地域		相模原市						神奈川県（相模原市を除く）				県外
学校・学級の種類		未就学	小学校		中学校		特別支援学校	未就学	小・中学校		特別支援学校	全て
			支援級	普通級	支援級	普通級			支援級	普通級		
回答者数		4	89	8	32	2	23	5	22	6	3	13
1	学童を利用している	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	2
2	学童を利用していない	0	22	0	13	1	5	1	5	5	1	4

2.　学童を利用していない方は　どのような方法で？

市内小学校支援級	■放課後等児童デイサービス
	・自分の仕事がフルタイム（正社員）からパートとなり3年生まで（学童を）利用していたが4年以降は本人が嫌がり放課後児童デイサービスのみ。
	・基本、子どもが帰ってくるまでのパートなので（放課後デイサービス使用）
	・仕事の時間をお迎えに間に合うように短くしている。（+放課後児童デイ）
	・児童デイサービスと移動支援などを利用している。
	・児童デイサービスを月2回利用＋一人で留守番している。
	・放課後児童デイサービス+祖母
	・1年の頃、本人が嫌がったので、（学童を）やめてしまった。放課後は、祖父母か児童デイサービスでみてもらっている。
	・自分自身が児童デイに勤めているので、子どもが他の児童デイサービスの利用がないときは、勤務先にくるのでどうにかなっています。
	■留守番

	・学校へ行っている間の時間に出来るし、土日もやっているが、１時間～２時間程度なので留守番をさせています。
	■学校に行っている間のみの仕事
	・学校にいる間に終わる仕事なので利用していません。休みの間も多くても２時間くらいなので、兄弟と留守番をさせています。
	・３年生までは学童を利用。それ以降は、自宅で一人で待っています。
	・子どもが学校に行っている２～３時間のみパートで働いている
	■祖父母
	・祖父母にみてもらっています。
	■その他
	・１～３年生までは児童クラブを利用。４年夏休みから申し込んだが定員が多く利用できず（６年生までOKとはいえ１度やめると厳しく、実状、誰も利用できていない）、以降は夫と協力しながら送迎できる方が行ったり、子どもが学校にいる間の時間などで働くシフトを組んでいる。
	・そのまま家で過ごす＋松が丘園などを利用
	・毎日、送り迎えで登下校している。週１で療育へ行っています。
	・部活があるので、利用していません。部活がない日は、留守番させています。
	・ファミサポ的な方に学校から児童クラブまで送ってもらっている。
市内 中学校 支援級	■親以外の誰かが迎えに行く
	・放課後等デイサービス
	・ボランティア
	・家族の誰か
	■ガイドヘルプサービス
	・ガイドヘルパーさんに、下校時のお迎えと自宅に戻ってから遊び相手をしてもらっている。
	■祖父母
	・子供同士も心配。迎えに行ける時間は無い。
	■その他
	・中学に進学して児童クラブがなくなり、かなり仕事ができなくなりました。とくに長期休みには朝から預かってくれる施設が出来ることを強く希望します。
市内 中学校 普通級	■親以外の誰かが迎えに行く
	・（祖父母と）同居しているので、間に合わない時はお願いしている。
市内 特別支 援学校	■放課後等デイサービス
	・中学からはデイサービスを利用。（高等部）
	・放課後デイサービス＋外出支援。
	・放課後支援。
	・放課後等児童デイサービス、一時預かりなどを利用。
	■短期入所
	・中学になり学童がなくなり大変です。今は毎日送迎で、短期入所の施設を利用しています。仕事で急に会議が入ることもあるので対応して下さる所は少ないです。帰りは私が施設まで行きます。
	■一時ケア
	・肢体なので児童クラブの利用ができない。ふれあい・松ヶ丘等を利用。
	■習い事
	・自力通学をし、習い事を週３～４回通っている。
	■自分で
	・自営のため、時間をやりくりして送迎をしています。パスモを利用してバスに乗ることが出来るようになったので、今後自力で学校に通学（下校のみでも）出来るようになればと思います。
	■その他
	・学童３年までしか使えなかった。１年生多く外された。
	・学童の先生が障害の理解がないので不安で利用していません。デイサービスや色々なサービスを利用しています。（小学部）
	・デイの事業所が少ない。半年待ちでやっと利用できた。増やしてほしい。
県内	・本人に１人で留守番させるか、祖父母に頼んでいる。（小 普通級）
	・３年生から学童に入れなくて、鍵っ子になりました。（現在６年生）（小　普通級）
	・学校まで迎えに行ってもらい、帰りは家まで送り届けてもらっています。（小　普通級）
	・祖母に見てもらっている。（中学　支援級）
	・マンションのサロンなど、地区センター、集会所などで遊んでいるか、友達と同じ習いごとをさせている。（中　普通級）
	・はまっこが充実している（横浜市　小学校　支援級） ※はまっ子ふれあいスクールとは、原則として、当該実施校に通学する小学校１～6年生で参加を希望する児童が対象。児童の創造性・自主性・社会性などを養うため、児童が通い慣れている学校施設を利用して、異年齢児間の遊びを通じた交流及び児童の安全で健やかなる放課後の居場所作りを促進し、もって児童の健全育成を図ることを目的とする。小学校の多目的スペース、校庭、体育館などの施設を使用するとともに近隣の公園など校外施設においても実施することが出来る。運営主体は　小学校に設置する「はまっ子ふれあいスクール運営委員会」運営委員会の構成は当該小学校PTA代表者・当該小学校校長・地域の適任者チーフパートナー·その他運営委員会が認めたもの
県内 特別支	・自営のため、時間をやりくりして送迎をしています。パスモを利用してバスに乗ることが出来るようになったので、今後自力で学校に通学（下校のみでも）出来るようになればと思います。

県外	・学区を超えて空定員のある学童にとばされます。しかも送迎が必須条件のため、働いている方は勤務時間を調整した。兄姉が送迎するなど家族に負担がかかっている。（東京都　小学校　支援級）
	・学童を利用していましたが先生に理解がなく、他の子のいたずらも全て子どものせいにされ日々責められていたので、学童をやめる為に仕事をやめました。（千葉県　小学校　普通級）
	・学童の先生が障害の理解がないので不安で利用していません。デイサービスや色々なサービスを利用しています。（？　支援学校　小学部）
	・両親が近くにいるため（静岡県）

Ⅷ.　将来について（進学・就職など）について悩んでいること　困っていることをお書きください。

市内未就学	■デイサービスの利用
	・就学後の放課後等デイサービスがどこも空いていないので利用できるか心配です。
	■今までと同じ支援が受けられるか
	・現在の「個別支援計画」の内容が就学先で活用して支援してもらえるのか心配です。
	■普通級か支援級か
	・グレーゾーンであるため、普通級かよいのか支援級がよいのか迷っている。学校によっても支援の差がある様なので、小学校入学がとても不安である。
	■全てが不安
	・今後入学にあたりすべてが不安だらけです。学校側の体制もそうですが同級生たちの質にも不安です。お友達については運という様な事も言われてしまいましたし、心配だらけです。今の考えとしては、自ら積極的に動こうと思っています。９月に入ったら早々に学校側に連絡をしてお話を聞いてもらおうと思っています。
市内小学校支援級	■小学校について
	■小学校 - 専門性、指導・授業の内容
	・子どもの自立にむけてもう少し支援が整ってほしい。
	・現在６年生で、支援級に在籍していて、中学を見に支援学校へ行きました。その時、高校を見学して３年生で職業体験レポートを書いているのを見てこの子達には、先があるんだと実感しました。その時に、何をすべきかわかった気がしました。年齢にあった教育ではなく、先読みの常識です。４才なら7才の、１０才なら１５才の、１５才なら２０才の常に先を見通した常識を小さいときから教えるべきだと感じました。
	・小・中学校は、支援級となるが先生の知識不足は否めないと思う
	・学校は、勉強をするところなので、もっと国語や数学の時間や内容を充実させていただきたい。
	・学校の先生が、支援教育・自閉症などの知識がなさすぎる。その為、子どもが辛い思いをしている。もっと障害児の勉強をして欲しい。そもそも、普通級しか教えたことのない人が、支援級の担任になること自体考えられない！ただー緒にいればいいという預かり施設とは、わけがちがうことを理解いただけないことが心配です。
	・教育委員会などで、折角「支援教育」の研修時間を設けていただいても、勤務時間内であるのを言い訳に「大事な子ども達を置いて研修に行けません」と頭から参加する意思がない先生、参加はしていても「その時間は、寝ていました」と平然と保護者に言う先生が存在します。子ども達が大事だからこそ研修に出てしっかりと「支援教育」を学んで頂きたい。いったい何の為の研修なんでしょうか？予算と時間の無駄としか言えません。
	・学校の教員も全対象で支援級の教育もできる制度になればいいのではと思います。支援級を１度体験させるとか…支援級の先生方や介助員さん達のご苦労を感じます。
	・出来る事なら、障害の程度に合わせたクラス編成、学校編成にしてもらいたい。軽度の子どもには、重度の子どもに合わせたレベルだと学力もだんだん低下してしまいます。障害を持った子供はどんどん増えます。障害者年金も今のままだと破綻する時が来ます。何も教えないまま、何も出来ない障害者を増やすより、きちんと教えて何かが出来る障害者を増やしてきちんと就職させた方が社会にも良いと私は思います。
	■小学校 -人手不足
	・現実、どこの学校も先生方が一生懸命でもいっぱいいっぱいです。人手不足です。
	■小学校 -交流
	・交流級との子ども達との交わり方とかが、学年が上がるにつれ難しくなっていると感じます。
	・交流も行けそうなのは行かせていただきたいです。
	・普通級の先生は、かなりドライに見えます。普通級での授業参観の時に、少しつきはなされた感じというか疎外感を感じました。支援級の先生は、教室前までついて行ってくれるみたいですが、教室へなかなか入っていけず、交流をしていくのは厳しいかな？もう一押し手伝ってあげれば、うまく普通級へ入っていけるのでは？と思いました。
	・支援級にいると限られた教科のみ交流へ行くという形になるので学校では、こんな教科を学べるんだという機会が減ってしまうなぁと感じます。学習面だけではなく、世の中の接点は、数多く持ちたいと常々思っています。
	■小学校 -地域の理解
	・１番の悩みは、登校班です。介助の先生に相談すると「学校外のことなので地域の方と話しあって」とのことでした。４月に入学してから毎日、私も一緒に登校班にまざり学校まで送り届けていますが、本人も「ママついてこなくてもー人でいけるよ」といっているし、私もそう思います。ですが、同じ登校班の保護者は私がついていかないで登校することをなかなか了解してくれません。同じ登校班で同じ１年生はおらず３年、４年、５年、６年の男子のみで、一度泣いてしまったときも「あ、泣いちゃった」と見ているだけの子が多くなんか…不安にさせられました。小学校に入ってから一気に広がった地域との関わりに戸惑い理解が薄いことにどうしていってよいのか悩みます。
	■小学校 -就学相談
	・子どもの様子からすれば支援級しか最善の選択はありませんし、普通級ではとてもやっていけないのは事実ですが、支援級の実態？がどんなものなのか、昨年の就学相談等でもう少し教えて欲しかったです（保護者の勉強不足も痛感しておりますが）。
	■小学校 -その他
	・勉強はあきらめたくないけれど、このまま支援級での生活で年齢相応の学力が身につくのか？そもそも普通級とカリキュラムも違うのに、将来、進学で不利になるのではないか？学力があってもコミュニケーションや社会性の問題で就労につまずくのであれば、勉強はそこそこに早いうちから就労・自立に重点を置いて学校生活を送るべきなのか？うちの子どもはグレーゾーン、ボーダーと言われるようなタイプの子なので（療育手帳は持っていない・とれない）どっちつかずで、どの目標に進めばいいのか悩みます。

・小学校１年生になって、４・５ヶ月、まだまだ体制などわからないことだらけです。支援級に入れるのをすごく悩み、家族も「普通級にしたほうがいい」という中、日々の様子（子どもの）を見て、入学する校長とお話をしたり、支援級の見学などもし、支援級の決断をしました。担当の先生も平成生まれで若く活気があり、いつも子どもに尽くしてくれようと　一生懸命動いてくれています。

■ 中学校について

■ 中学校 - 就学相談

・中学進学で、学校での進学相談という場がないので、少し驚きました。最後に決めるのは親ですが、相談する機会があると安心します。日常生活を長くしている学校の先生方との相談をもう少ししたかったと思っています。

■ 中学校 - 学校を選択させて欲しい

・せめて中学校を選べる体制がほしい。

・発達障害の子供用の中学校、又は、学区をなくして選べると違うと思います。

・学区の中学校の支援級へ進むことへの不安（いじめの噂を聞きます）

■ 中学校 - 支援教育の無理解、指導・支援・人手不足の不安

・中学校の進路について支援級に行きたいが、学習面や今の中学の様子を聞いた限り厳しいと思ってます。中学校の支援級も細分化して、知的と情緒に分けて職員を増やして欲しい。

・中学へ進学しますが、１日を充実して過ごせるか心配です。個別支援計画がより具体的に子どもの発達にそったものにならないと「学ぶ」という学校本来の機能から外れてしまいます。できない子を集めて時間しのぎをしているようでは、学校とはいえません。一方で、子どもは、日々、自立をしています。どんな子でも進歩しています。間違った自立を教員から促されると子どもの心は傷になることもあります。本来自立とは、かなりの緻密な計算がなされなければ成立しません。自立を時間しのぎの一部にしないでください。間違った方法をとられるのが心配です。

・近くの中学校の支援級の内容が、あまりよくないようで心配。中学校自体（普通級）も評判が良くない。見学へ行った人の話では、毎日、美術があり見学した日はカレンダー作りをしていたとのこと。今、小学校では、勉強をしてくれるようになり改善されてきているのに中学校へ入ってレベルが落ちるのはどうかと思う。将来は、サポート校なども考えているので、養護学校行きを決定づけるような中学校の在り方は思う。

・中学校の支援級が養護学校のようで、見学に行くと何の希望もなく発達障害の子どもにとっては、時間の無駄のように思える。今のままでは、行かせたくありません。

・「支援教育」となってから知的障害のないお子さんも支援級に存在するのですが私が知る方は、学校の理解がなく「不登校」になっています。我が子の未来がどうなるのか？は、義務教育である「中学校の支援教育」が大きな鍵を握ります。現在、耳にする中学校の支援級の状況は、「特殊学級時代」からの進歩がなく保守的で「教育」ではなく「保育」に近く「視覚支援」など「支援教育」には当たり前の「支援」がなく「特性」の理解がありません。３年間で、子どもが「退行」しないか心配です。

・現在、小学生ですが、中学校の支援級の環境（ハード面、ソフト面）がとても心配です。小学校で、積み上げてできたものを継続してもらえるような仕組みになるといいと思います。教師の専門性を高めていただきたい。学校内での支援級の位置づけについても、しっかり考えてほしいと思っております。

・小学校で、出来ていたことができなくなる…例えば、床に寝転がる。挨拶ができない。字が乱暴になる等。実際に見学に行き見てきました。中学校の先生のひどさに呆れました。

・卒業後、通うであろう中学校があまりにも支援教育に理解が無さ過ぎて、今から不安でしかありません。中学に入っても、小学校と同じだけの充実した支援教育が受けられるように、「特殊学級」時代の間違った指導の仕方しかできない「支援教育」の理解が乏しい先生は、排除して「支援教育」を一刻も早く、徹底した教育にして欲しい。
教育委員会などで、折角「支援教育」の研修の時間を設けて頂いてても、勤務時間内であるのを言い訳に「大事なこの子たちを置いて研修には行けません」と、頭から参加する意思がない先生、参加はしていても、「その時間は、寝ていました」と平然と保護者に言う先生が存在しています。子どもたちが大事だからこそ研修にでてしっかりと「支援教育」を学んで頂きたい。いったい何の為の研修なのでしょうか？予算と時間の無駄としか言えません。

・支援級の担任になる先生は、自分の専門科目も上手く教えることが出来ない先生や定年間近の時間つぶしの先生のたまり場所になっているという噂がありますが、実際はどうなのでしょうか？障害は、努力と根性でなんとかなるものではありません。その事を理解してもらえ、体力があり、何事にも柔軟な考えの先生が必要だと思います。特に、「ベテラン」と呼ばれる先生の長年の経験で「特殊学級」時代の間違った指導を正当化して無理矢理、押しつけている先生は特に困ります。音楽や家庭科、体育の先生だけではなく、国語、数学、社会などきちんと教科を教える事が出来る先生が支援級に来て頂きたいです。

・進学予定の中学校で、先生の人数が予算の関係で減ってしまうかもという話を聞いてとても不安に思っています。

・「自立」として行われている「畑仕事」「バスや電所に乗って出かける」「お金を持って買い物をする」という授業は、自宅でも教える事ができると思うので、学校での授業の時間を使って行う必要はないと思います。普通級でもそういう授業がありますか？障害の程度にもよりますが、普通級の子どもたちと同じく学校でしか出来ない、学習をメインに進めてもらいたいと思います。覚えるのが苦手で、なかなか進まない事もありますが、教科書にそった学習に時間をもっと頂きたいです。
その一方で、学習と言いながら、ひたすらプリントばかりを繰り返すのも困ります。これは学習ではなく、自習でしかありません。教科書もあるかどうか、何を使っているのかも全くわからない状態では困ります。きちんと全教科(国語、算数、理科、社会、英語も含む)も教えてもらいたいと思います。支援級に教科の担任の授業が無いというのもどうかと思いますし、来ていても、支援級の担任が授業をして、その補助を教科の担任がしているというのは、もったいない話です。そして、授業の進み具合や、今日は教科書何ページの何をしているのか、自宅でどこをフォローすればいいかなどを明確に保護者に伝えて頂きたいと思います。
障害児であっても、学ぶ権利はあると思います。子どもの可能性を奪う事は止めて欲しい。「出来るわけない」「どうせさせても分からない」「教えてもムダ」で片づけないで欲しい。小学校で、今まで交流級で出来ていた教科は、中学校でも積極的に交流級で学ばせて欲しい。もちろん、教えるのは時間がかかるし、それぞれ進み具合、理解の速度、得意不得意で違いますが、そこを合理的配慮できちんと丁寧に指導するというのが支援教育ではないでしょうか？

■ 中学校 - 交流

・学区の中学校（支援級）は、ほとんど交流がないとのこと。子どもが中学校へ入ったらあまりの違いに戸惑うと思う（小学校は交流が多いので）。

・小学校が、子どもの現状を見つめ丁寧に育ててくださっているのですが、その支援が、中学校へとつながることが難しい現状。交流で、現在、算数・音楽・英語・書写を完全自立で行き、補助の手を借りながら理科・社会・図工・家庭科への参加をしています。安全面の問題（不注意があるので）や実験などは、視点について指し示していただける支援により（交流での授業が）参加しやすいこと、話を聞いただけですぐ作業へうつれないので、構想を練るときに支援があると助かること、ずっとべったり人がついていなくてもいいので、上手な支援を受けながら自立へ少しずつ歩んでおりますが…。中学では、学習（主要５教科）の交流について前向きではなく、小６の学習の課程を修了した先の学習についてのご理解がないような発言「中学の勉強は難しい」「学校より時間が長い」「数学ですよ出来ますか？」「授業の速度が速い」などを言われてしまいます。大学も少しずつではありますが、入試制度の見直しがある中で「中学校」というものの「支援教育」への理解が薄く大切に子どもを育てていただけるのか不安です。

・進学しても、なるべく普通級で同じように過ごして欲しい（中学へ入学するとき等）。

・「校外学習」で学年ではなく、ひとまとめにされて別行動にしたり当日のみ参加させるのはどうかと思います。最初の時点のグループ分け、事前学習などから参加させて一緒に行動させるべきだと思います。何の準備もなく、いきなり前日になって、連れて行かれて「この班で行動する」と言われても、本人もいきなり一緒にされた子ども達もどちらも戸惑うし、どう接していいかわからない「お客様状態」は双方に良くないと思います。障害児の理解をしてもらえないどころか足手まといでしかないと思います。発表会や運動会に関しても同じです。練習の時点から参加させてもらえれば、「お客様状態」にはならないと思います。

■中学校 - 放課後

・中学から児童クラブへ行けないことも困る。在宅勤務とパートのWワークですが、出勤時は皆さんどうしているのか知りたいです。

・中学生になったら児童クラブがないので一人で留守番させるのが心配。

・来年度、中学へ進学します。仕事をしているので、夏休みなどの長期休みは、児童クラブを利用しています。中学校から長期休み時、特に午前中の（午後はデイサービス利用）居場所について、どうしたらよいかわからず困っております。一人でお留守番は、てんかん発作があるので厳しいです。

■中学校 - その他

・中学では、体格の差や発達の差が大きくなるので、事故や怪我も心配です。

・現在、支援級（小学校）に在籍しています。我が子は、軽度の自閉症で、学力は健常児と変わらない程度ですが、コミュニケーションがうまくとれずにいます。理解する際に時間を要することや自分のペースで最低限の基本的学力を身につけさせるため、支援級にいます。中学は、支援級ではなく、普通級に入れたいと考えています。進学の時に、支援→普通へ移行することがスムーズにできるのか。進学先の学校に受け入れてもらえるのか。周りの子どもから冷やかしなどにあうのではないかと、まだ数年先のことですが、いつも頭によぎります。学力の質を落とさずに、発達状況を理解してくれる学びの場（発達障害児専門の）塾などがあったらいいなぁと思っております。

・中学の支援教育の様子が、まだわからないので知りたいです。どこで知れるのかも知りたいです。

■高校について（高校・支援学校高等部など）

■高校- 本人にあった学校へ行けるか不安

・高校へ行くことが出来るのか不安（どこまで成長してくれるかわからない）

・高校への進学（支援学校は入れる人数が少ないとのことなので）高校へ入れなかった場合どうなるのか？

・高校進学時、特別支援学校に入学できるか？

・中学校は支援級と考えていますが、その後の進路がどうなるか（うちは養護学校というタイプではないと思うので）サポート校になると思うが、金銭的な負担が大きく辛い。

・公立の（支援級からの）軽度発達障害の受け入れ先を増やして欲しい。

・その先の高校も発達障害の子が行く高校があればと思います。養護学校も違いますし、普通の高校も難しいのでお願いしたいです。

・中学校までは支援級クラスがあるが、高校（県立・私立）は支援級クラスがあるのかないのかわからない。もしなければつくってほしい

・中学校は支援級への道がありますが、高校や大学については進学は難しいのではないかと考えています。

・情報が足りない！地元中学の支援級→支援学校高等部or分教室を目指しているが、分教室へ入るにはどれくらいのレベルが必要なのかわからず不安。高等部と分教室の就職先の違いも知りたい。高等部のカリキュラムはHPで見ることが出来るが分教室はまったくわからな

・進学するにあたり、近くの学校などの情報がよくわからない。

・中央支援も定員が厳しいと聞いているので、行政として対策をとって頂きたいです。

■高校- 登下校の不安

・養護学校が遠いこと。病気など急な迎えの時大変。

・支援学校が遠い。バス停までが遠い上に　バスのない学年になったらどうやって通学させたらいいのか悩む。地域の支援級も遠いので（２０分以上）通学の付き添いが今から不安である（自分の体調などの部分で）。

■高校- 軽度のための不安

・うちの子どもは、軽度の知的障害というだけの診断名でしたので　正直なところ、どのような方向性にすすんでいいのか思い悩むところです。子どもにとって一番良い環境作りをしてあげたくても情報もなかなか入らないですし、障害の度合いもそれぞれ違うと周りに相談できません。

・療育手帳を取得できない為、就職・進学（高校）の支援が手薄になってしまいそうで不安である。

・軽度の子（手帳B判定）でも入れる特別支援学校があると良いのですが…中学までしか支援級がなく、それ以降のことを考えると将来のことが見えなくて怖い。

・このまま支援級在籍であると（小３から）将来が不安である（就職できるか、高校へ進学できるか）。

・ＩＱがあり、療育手帳はとれず、自立が普通に出来ているため精神障害福祉保健手帳の判定も軽くなりそうです。でも、情緒面が不安定すぎて、サポートなどなしでは困難です。普通級、支援級、どちらつかずで、将来は健常者と同じに生きていく場面が心配です。

・今、小学生ですが、中学校へは恐らく公立の中学校の支援級へ進むと思います。そのあとの高校が、軽度発達障害の子どもに適したものがないと考えます。特別支援学校の枠は狭いですし、重度の方が優先されてしまうと聞きます。ですが、分校である橋本高校は、バス・電車を使い自主登校しないといけないそうです。生きていくには勉強より自立だと思っていますので、支援学校に軽度の子どもも自立を目指せる学級があってほしいと望みます。徒歩で通学できる範囲が親としては、理想です。適切な高校の進路がないことに悩みます。

・軽度の発達障害は、重度の方に比べて不利だと思う。高校への進学は、軽度ではあるが、全て自立はしていないし、進学できる高校があるか心配。

・支援級在籍の中学生は、一般の県立高校へは、受験して進学は無理ですか？養護学校や橋本高校の分教室だけでしょうか？

・軽度の発達障害の人は、どういった就職をされているのか？実際の会社名や仕事内容、支援の有無など知りたい。

・普通級の子とどんどん差がついてお友達が少なくなってしまうのではないか？（会話が合わない）

■高校- その他

・高校卒業（養護にしても）後のビジョンが見えていないので、漠然とした不安があります。

・今は、小学校に入学したばかりなのですが、高校進学・就職できるのか心配です。

・将来、就職できるためにどの学校に進めばいいのかよくわからない。

・進学については、たくさんあるので不安をずっともっていると思う。

・小学校１年生ということで、まだその日１日を無事にやり過ごすのが精一杯という現状ですが、支援級を卒業してその先…と将来を考えるとあまり選択肢がないのだろうかと暗い気持ちになります（中学・高校をどうするのか？進路は学力より就労優先で考えるべきなの

	・進学する時の手続きや書類などをマニュアル化されていると良いと思う。他の保護者と話をして情報をもらわないと先のことがよくわからないので。
	・支援級で学んできた子どもと、養護（支援）学校で学んできた子どものほとんどが、高校で一緒になります。それで、良いのでしょうか？良いはずないですよね？高校にも支援級が必要です。
	■高校卒業後について
	■卒業後 - 就職の不安
	・自分自身が働き出して（パート）久し振りに働く厳しさを知った。言葉のきつい人や間違いに厳しい人等色々な人がいるが、子どもがその状況に耐えられるのか。少しでも自分のお金を稼ぐことができるのか？心配になります。
	・就職して、自分の給料だけで生活できるのか不安。
	・子どものこのレベルで就職先があるのかどうか。どのくらい就職できていない子がいるのか。就職できないとこの先どう過ごすのか、生きていくのか。
	・働ける様になるのか不安。小・中学校・支援学校を選ぶので、まだどうするか迷っている。
	・いわゆるグレーゾーンという息子。障害者・療育手帳をとれるわけでもなく、知的にやや遅れているという子ども達の将来の行き場が少ないように思います。また、就職しても待遇がわるいようにみえ、賃金が低すぎ、生活（自立）できないのでは？と将来が不安です。いろんな人がいるから助け合える社会にはなかなかならないのでしょうか？
	■卒業後 - 成年後見人について
	・成年後見人制度などがありますが、信用している弁護士さんなどに裏切られる等の事件が散見されます。安心して暮らせる社会になって欲しいです。
	・両親が老いた時、一人っ子でもありグループホームに入ると思うが　後見人制度などうまく移行できるのか不安がある。
	■卒業後 - 親の健康・老いたとき（死んだとき）の不安
	・自分がいつまでも健康ではいられないので、今は悩んでいませんが将来を考えると不安になります。
	・正直、自分たち親が死んだ後、どうやって生きていくのか？そこにつきます。
	・子どもにとって頼れるのは両親だけ。一人になってしまったとき、いったいどうすればよいのか。今からなにかできることはあるのかどうか。今から心配しております。
	■卒業後 - 社会に対して
	・福祉が進んでいる国などに足を運んで研修などを行い日本にも取り入れて欲しいと思います。
	■卒業後 - 障害理解
	・自閉症は、理解されにくい障害なので、今後もっと理解されるといいと思います。
	・今は少しずつ企業も障害者の支援を応援しているが、もっと理解し支援をしてほしい。障害者の人もその人しかできない仕事（得意なこと）は必ずあると思うから…。
	■卒業後 - 福祉
	・現在、小学校中学年で進学まで頭がまわりませんが…就学してからこの先の自立までを地域の担当部署？障害福祉？支援シート？？なにかしらきちんと支援の継続があるのか　不安になります（担任や担当がかわると振り出しに戻ってしまう）。
	■卒業後 - 自立について
	・一人っ子なので自立できるかどうか不安です。
	・一人できちんと生活することができるか不安。
	・言語、文字でのコミュニケーションがとれないため将来、自立できるのかが心配。
	■卒業後 - その他
	・理解できないまま保証人になったり、犯罪者にされたりと枚挙にいとまがないほどです。
	・学校を卒業した後、行けるところがなくなってしまうのが、一番、不安なので、今から少しずつできる作業など増やしていきたい。
	■その他
	・悩んでいることもわからない。
	・子どもに何をしてあげればいいのかわからない。どうしていいのかわからない。
	・今から情報を集めたり、人脈を広げたりと努力はしています。
	・うちの子は、元々、障害はなく集団行動が苦手なので支援級に入りました。進路はもちろんのこと、学習面でどの程度の学力をつけなければならないかがわかりません。小学校の支援級での面談では、小学校４年生程度の学力があれば日常生活は送っていけるとの説明を受けました。それでもやっぱり出来る限り一般の子と差のない教育を受ける機会を与えたいとも思います。普通クラスのお子さんでも、授業についていけない場合があったりしますが、各教科の授業は受けています。
	・子どもがもう少し大きくなってから就職事情などを知りたいですが、いまは、まだ特にありません。
	・学校の選択（送迎の負担が大きすぎる）
	・勉強など教えてもすぐ忘れる。教えてもやってくれないと心配している。
	・進学・就職・生活・余暇などの情報や先輩の話。現状を知りたいです。
市内小学校普通級	■一般就労の門の狭さ
	・作業所の様な一律同じ環境ではなく、その子の特性を理解してくれる普通の会社で働かせたいが、現実にはどうかが心配。
	■親権者亡き後の不安
	・進学も就職も心配だが、私が死んだら子どもはこの後どうなるのでしょうか。
	■社会での障害への無理解
	・周囲の環境が良い時は落ち着いて過ごせるが、悪い（先生の理解や配慮が無い）と周りの子ども達にいじめられたり、からかわれたり辛いことが増え、我慢する事が増えてしまう。全ての人に理解してもらうのは不可能でも、それなりの配慮はしてもらいたい。
	・障害を理由に逃げているつもりはないが、逃げているように思われることが親としては辛い。
	・学力に偏りがあるので、読むことが出来ても字が書けない書字にハンディがある子などには、マークシート式の答案用紙などにしてもらえるとすごく助かると思う。

	・出来る事はすごく出来るのに苦手さから取り組めない、取り組もうとしない点では親としては何とか出来るようにサポートするが、周りの環境や理解で左右されてしまうので、学校や学級のサポートは必要だと思う。
	・成長するにつれ、理解のある生活環境に慣れてしまう事は、広い意味では配慮があり、平等で当然なのかも知れませんが、実際は、理解が少ないのが当たり前だろうと思うと不安になる。
	■その他
	・学力がついていけない。
	・同学年、同性の子どもとコミュニケーションが出来ない。
	・特に国からの支援を受けられる訳ではないので、就職については漠然とした不安がある。大学に進学した後の就職活動で、対人スキルが低い為に内定が取りづらいと思われる。
市内 中学校 支援級	■進学について不安・要望
	・普通高校に行くのは無理ですが、かといって支援学校に行くほどでもない程度の障害です。このようなグレーゾーンの子供が行く学校を選ぶのがとても難しいと思います。
	・養護学校を増やしてほしい。情緒、自閉症の子供に対応してもらえる学校を増やしてほしい。
	・分教室・養護学校によって実習方法が違うため　学校選びに悩む。
	・本人は進学を望んでいるが、書字障害の為に字が書けないことや　睡眠障害の為に午前中の授業などに出られない事について進学先でどのくらい支援が受けられるのか不安。
	・高校の進学先の選択があまりなく　残念に思っています。
	・中学（支援級）では、テストが無いので　ちゃんと高校に進学できるのか不安です。（面接だけで大丈夫なのか…等）
	・相模原中央支援を希望していますが、送迎が大変。下校はデイサービスを使っていますが、朝送って行くのが、仕事をしているためどうするか？悩み中。一人で登校させるのも、駅から歩くので心配です。せめて駅からのバスでも出ていてくれたらと思っています。
	・政令市になるにあたり、市内の特別支援学校高等部の志願資格にかかる指定地域を区を単位にしたために、隣の駅にあっても同じ区内でないために通学できない事例が多数発生した。相模原市は横浜線・相模線が各区を横断しているため、これは大変不便である。歩いて通学できる学校に行けずに、わざわざ電車やバスを乗り継いで保護者と通学する負担について、人的および財政的にもう一度見直して頂きたい。馬鹿げている。
	・高校から養護学校、学区外でも入りたい学校に通わせてもらえるのか、また定員の問題で断られたりしないか等心配です。
	・高校から自力で登校(バスにのせてくれない)、でも子供が一人で登下校できなければ親が送迎をしなきゃならない。仕事をしている親はどうしたらよいのでしょうか。
	・高校進学について、学校から十分なアドバイスを受けることができるのか不安。
	・実技科目が多めで、理社英の授業はとても少なく、国数は小学校の内容となると、中学の学習内容は全に抜け落ちている状態。高校に入れたとしても、困ることはないか不安。
	・情報を一括して得るのがとても困難であること。高校進学に関して言えば、中学校では養護学校の情報はあるが、サポート校の情報を持っていない。上級生の保護者に経験談を聞けるような場があれば　大変嬉しいと思った。また、子どもの障害も多岐に及んでいるので、自分の子と同じようなタイプの子の進路先を知るのは、不可能に近いことだと思う（会って間もない人に、そのような立ち入った話をしずらいので）。どこか一括して、このような情報を全て取り扱う機関があればすばらしいと思う。
	・療育手帳は知的障害児･者への一貫した指導･相談を行うとともに、これらの者に対して各種の援助措置を受けやすくするために発行されているはずなのに、特別支援学校高等部の入学者選抜に使用され、軽度だと不利益を被る場合(自力通学できる近くの学校ではなく、保護者付き添いでないと通学できない遠くの学校に行かされる。軽度なんだから遠くまで通学できるでしょとの見解だろうか?軽度でも障害児なのに?)があるのはおかしい。また、この点を教育委員会および児童相談所に指摘しても、双方ともそれぞれの責任を明確にせず今年度も療育手帳の判定を入学者選抜に持ち込んでいる。即刻止めるべきだ。
	・ゆっくり学んできたいのに、ほとんどの方が18歳で社会に出なければならないのは理屈に合わない。健常児は大学で22歳までゆっくり学んだあと社会に出ていく。うちの子もそのくらいまでは学びを続けさせたい。
	・中高一貫校がわが県でも導入されつつある。支援級も中高一貫で設置してはどうか。
	・養護学校の高等部を卒業したあと、就職ではなくまだまだ学校で学ばせたい。普通の子が専門学校に進学するように、障害を持った子でも専門学校に進学できるように、そんな学校をつくって欲しい。一つの事を覚えるのに時間のかかる子供を高校卒業後すぐ働かせるのではなく、進学させてじっくり学んでから社会に出したい。
	・障害のあるなしに関わらず、学びの場を選びたい。高校も養護学校だけでなく、県立高校に支援級があれば、支援を受けながらゆっくり学びたい。
	■就労について不安・要望
	・就職先が決まるのかはもちろん不安。
	・本人ができそうな就職先がどの程度あって受け入れてくれるのか?
	・進学や就職先の数が少なく、受け入れてもらえるか心配。障害名が高機能自閉症で療育手帳がB2と言うと、なかなか受け入れてもらえず、養護学校に進学したいと思っても、重度の子供さんから受け入れているからと言われ、通常級の支援級に入れると今度は、集団になじめず　パニックをおこしやすくなり、迎えに来てほしいと電話がかかってくることが多くて困っている。後で先生に話を聞くと、本人にあった対応がされていないように感じる。
	・進学・就職ともに定員人数がどこもパンク状態と毎年耳にします。子供の年齢が上がるにつれて、通所できる枠が少なくなり、親は年をとり　身体の健康維持が難しくなるので、このような状態に不安がつのります。個人では行政を動かすことが難しい(不可能)です。様々な親の会を通じ、相模原市でのサポートがもっと力をいれてくれるよう　足りない部分が足りるようにしていくことはできないだろうかと思います。
	・神奈川県内でも相模原市の障害者の就職率があまり良くないと聞きます。
	・まだ先ですが、適した就労先が整えられているか気になります。
	・障害者枠の就労先はあまりないように聞いている。不登校で養護に来た子と競争しても勝てない。
	・就労するにあたって、就労後の生活の講習会・体験談など　聞けたらいいと思います。
	・松が丘園のような働くための訓練できる場を、もっと多くの子が利用し、作業場でなく就職できるようになる市を目指してほしい。
	・企業などの雇用側に採用されるよう学校はもちろん家庭でも子供たちを頑張って育て教育しなければいけません。小学校から将来を見据えて相模原市の全学校で取り組んでいくべきだと思います。それにはある程度、小学校と中学校の連携も必要でありますし、学校によってレベルに差があってはいけないと思います。
	■その他

	・新しく支援級を各学校に設置して頂いていることは良いと思いますが、設置することにより、設備が整っていなかったり、情緒・知的・病弱・肢体が同じ学校内にある場合、活動がものすごく大変になっていたり、校外学習になると職員も大変そう思われます。交通手段方法も配慮など必要になっていくのではと思います。
	・各学校に支援教育の勉強(大学にて)をしてきている先生、支援学校へ行っていた先生が、支援級にひとりも入ってなく、普通級に入っていまっている。特に支援級の内容がレベルアップしない時は疑問に思います。
	・学区でいくと高校(養護学校)が遠い。不便。遠いと親の送り迎えも必要になるし、子供がひとりで通えるように　希望を聞いてもらいたい
	・いろいろ調べていかないといけないなと思っています。
	・現在南区在住です。しかし、次に進学予定の相模原養護学校高等部に通学が、とても不便で困っています。高等部は、確か自立登校ができる(自ら電車・バス等公共の乗り物を使って)事を重んじていると思いましたが、学区というくくりの為、近くのそれも訓練次第では自立登校ができる可能性が大きいのにもかかわらず、わざわざ遠方で、しかも自力では難しい場所が学区の為、そこに通うことになってしまうという困りがあります。行政と学校の考えが、合致していないように思えます。学校は、生徒側に立って考えてくれますが、行政は冷たく『学区を守って下さい』と切り捨てたようなロ調で対応します。行政は、生徒・親に対して細かい説明もなく、机上でのきまりを大切にしています。机上で線引きするのではなく、個別・特性を考えていただきたい。無駄な税金を払うのではなく、福祉に有効に使って欲しいと思う
市内 中学校 普通級	・将来、就職できるのか心配。
	・中学校に普通級と支援級の間のクラスがあれば…と思ってしまう。
	・普通級のまま、大学を卒業した後に、発達障害を理解した職場に就職出来るか不安。知的障害がなく、療育手帳が取れない。就職の時点で、本人がどのように成長しているかも全く見当もつかないが、障害者枠での採用を受け付けてもらえるか悩んでいる。就職の為に、普通級から進路変更した方が長い将来を考えたらいいのか、中学生の時点では判断ができません。たくさんの情報が欲しい。
市内 特別支援学校	■学校について
	・支援教育は肢体の子は２，３歩遅れているように感じます。今後、もっと子供が楽しくすごせるような学校を期待しています。
	・目先の進路として、高等部進学が希望通りに進むか、心配しています。もう少し受け皿が増え保護者がおどされる事なく進学出来ると良いと思います。
	・親に対しての進路指導について疑問に思うことがありました。高等部３年生ですが、１・２年の時は校内実習しかさせてもらえず、３年生になれば行けるものかと思っていました。３年生になると実際は入れるかは入れないか微妙なところは行かせてもらえず、「そんな事をしている場合ではない」と言われました。結局、３年間「１人か２人しか採りません」と言われたけど、希望し続け、何とか実習も行かせてもらえ、今は、そこに決まりそうなので、少し安心しています。
	■卒業後 - 進学
	・進学させたいが、希望できる学校が見当たらない。就職させるしかないのか…。
	・肢体(重心の子)はいくところがないのでいまから心配です。
	■卒業後 - 就職
	・事業所を見学したが、満員状態がほとんどで先行きが不安。早急に手を打って欲しい。
	・作業所など送迎が有る所が少ない。
	・学校で行われている実習、作業学習などもはたしてどの程度将来に役立つものなのか？例えばパン作りの実習がありますが、実際にパン作りを行っている作業所はそれほど多くないという話も耳にします。求められるニーズに合った技術を身につけさせてもらいたいと思い
	・養護学校では就職先によく作業所を勧められるが、給料は少ないと聞く。他の人は人生設計をどんなふうに考え実行しているのか知りたい。
	・障害の程度から考えて、福祉的就労又は生活保護ということになると思うが、支援学校、しかも高等部でありながら情報が十分でないと感じています。とにかく「親が自分で」「いろいろ見学して」「ここぞと思うところを見つけて下さい」と言っておきながら「(人員・適性などの点でということか?)希望のところに必ずしも行けるわけではないです」と言われてしまうと結局は受け入れてもらえる所に行くしかないのかと少々投げやりな気持ちになってしまいます。
	■卒業後 - その他
	・ケアホーム（グループホーム）が足りない。
	・療育してもらえるのが、高校卒業と同時に無くなってしまうことが残念。放課後デイだけではなく、個別療育してくれる事業所が増えて欲しい。
	・高校卒業後の進路についてはとても不安に思っています。医療ケアが必要ですが、資格のある方が常駐している施設が多くあるわけではないので、受け入れ可能なところが限られており、又、すでに定員がいっぱいだったりするので困っています。
	・高校卒業後の進路は、少しずつ増えてはいますが、受け入れ先がないということはないようになってくれればと思います。
	・今までの小学校の支援級でもそうだったのですが、障害への理解ある先生が対応してくれると本人も問題なく楽しく過し、指示や取り組みも上手く行くのですが、無理解な支援者(先生)の対応になると、指示もきけなく「悪い子」と言われたこともあります。現在は理解ある中で毎日穏やかに過ごしていますが、今後の進学・就職の先で理解者に出会えるか、それが一番の心配です。
	・身辺自立はしているものの、「あいさつ」「自分の名前を言う」などの言葉が出ないので、将来が心配。中２ですが、支援級・学校に通う生徒数も多いので高等部卒業後、事業所(生活介護)に入れるか心配しています。
	・ゆくゆくは親元を離れて生活することも考えなければと思いますが、今後入所施設を造らずケアホーム・グループホームへの移行という方向に向かっているようで、親としては不安なく生活できる場所が確保できるかどうかということが心配ではあります。
	・心身共に重心の子供なので将来の大きな不安があります。市内には、入所出来る施設が不足している状況。子供が成人しこちらが体力的に厳しくなった頃、預けられる施設があるのか不安です。自立は全く出来ないくらいの障害なので、支援学校を卒業したら「就職する」という選択はありません。知的さんの施設はたくさんありますが、肢体が預けられる施設はほとんどありません。行政はもっと長期的な計画で障害者やその家族に優しい制度、町づくり、施設等考えてほしいです。
県内 未就学	■自立通学に不安
	・将来高等部になって、地域の学校へ通えなくなった時にバスと電車等で、１時間以上の通学が自立でできるのかが、大変不安です（犯罪や災害があった時など…）。愛川町在住なのですが、バス1本で行ける所に特別支援学校を設立してもらえる事を祈ります。
県内 支援級	■学校全般
	・ボーダーだと本人の困り感について、周りが気づきにくく理解されづらい事がつらいです。（小）
	・先生（支援級）の理解、知識がないので、誰に相談すればいいのかわからない（中）
	■進学 - 小学校へ
	・どの学校に行けばいいのか、どのような支援があるのか分からないことが多い。
	■進学 - 中学校へ

	・小学校は支援級に在籍しているが、中学校も支援級で良いのか養護学校に進むのが良いのか、迷っている。
	・子どもが成長し、手帳取得が困難になってきている為、今後の進路をどうしていくか？小学校で、普通級に戻れたとしても中学の学習以上に難しい人間関係でやっていけるのか？（小学校以上にフォローがない）かといって、中学受験をさせようと勉強にウエイトをおけば本人がつぶれかねない。かつ、金銭面、又、6年間通うというリスクも（途中でかえられない）
	・現在、支援級に在籍していますが、（ウィスク４ｌＱ８３）知的境界域で学習面は、なんとか同学年でついていけているので、公文や通信教材などを利用して学習面を家庭でフォローしている状況です。漠然と、このまま支援級に中学生まで在籍していたら進路が限られてしまうのではないか？　高校へ進んだ後の進路をどうすべきか不安です。できれば小学校の先生方には、小学校卒業後の進路を見据えながら指導いただきたいと強く感じています。
	■ 進学 - 中学以降
	・中学校は地元の中学校に進学だろうと思いますがその先が想像できず…（小）
	・本人の希望や自分自身のとらえ方と、親の認識に差があり、進学についてまだまだ、情報収集や見学が必要である。（中）
	・高校は義務教育ではないということから、自力登校または、親の送迎が求められるが、自力下校訓練中に被害に合い、子ども自身、一人歩きができなくなり、親としても自力は考えられなくなった。送迎となると他の兄弟、妹がいるためきびしい。（中）
	・中学校の進路について、重度知的障害で、自力で通学できないため、親が送迎することになるが、学校が遠いので送迎（2往復すると）すると親の仕事が続けられないことになる。送迎の時間がとられ、自分の時間がなくなり負担が多いことを悩んでいる。希望として、高校生も送迎バスに乗れるとよい。（中）
	■ 就職
	・我が子が１８歳になった時に、どんな事ができるようになるのか？未知数なので、どういった会社を見学すべきか？決めかねています。毎年多くの方が、特別支援学校などから卒業されるのに、お仕事出来る場所はそんなに増えていないように感じてとても不安です。
	・就職できるのか。賃金はどれくらいもらえるのか。本当に不安は尽きない。
	・（手帳取得が困難になってきているため）就職先のフォローも見込めるのか…
	・職業体験などを通して（子どもが）自分の働く未来像をイメージしてほしいと思っている。
	・就職先も愛川町（地元）には少なく選択肢がない。近隣の市などに就職する場合、送迎しないといけないので、親自身が仕事を持つことが難しくなる。交通の便が不便なので、ネックになる。
	■ その他
	・どのくらい子どもが成長できるのかわからないが、本来は親がいなくても一人で生活できるような大人になってほしいというのが、どの親でも願うことだと思う。（小）
	・進学先なども、通常ではきびしいと思うが、親身になって相談してくれる場所が少なく不安。（小）
	・今、手帳を持っていないので、将来どう対応したものか・・・と手帳があればそちら方面を利用していけるが境界児の場合の就職が難しそう。通常の力が要求される。現在の社会の要求度が高くなっていそう。（中）
	・中度・軽度の知的を対象としたデイサービスがあまりない。放課後の居場所、他のお子さんと接するチャンス！そういったスペース、サービスがもっと増えて欲しい。（小）
	・アスペルガーとトゥーレットの二次障害・三次障害です。不登校（入学時、何回も教育委員会にお願いしたが、支援級に在籍させてもらえなかった）で子どもが苦手で、家庭内暴力があり、将来については考えられません。（小）
県内 普通級	■ 進学、結婚などの不安
	・今現在、薬を飲んで生活しています。自分でコントロール出来るようになれば止めるみたいですが、今後進学または結婚した時に、その子どもにも同じような病気が出ないか心配です。(小)
	■ 進学の不安
	・本人に適した進学先の情報を、どこで手にいれたらいいのかわからない。入試をどう切り抜けるべきか、不安である。（小）
	・成績が良くないので、進学出来るかが心配です。たとえ進学出来たとしても、その学校が本人に合っているかどうか、支援を受けられるのかではなく、成績で行ける学校という選択肢しかないので、とても残念だし、不安です。本人の進学に対しての動機も弱くなりがちなので、フォローやサポートの仕方に悩みます。（中）
県内 特別支援学校	■ 将来の生活について
	・高等部卒業後、どんな形でもいいので、働いて社会と接することが大切だと思っています。働くためには体力をつけることが重要だと思いますが、体を動かすことがあまり好きではないので、困っています。自分の身の回りの事、掃除、洗濯などの家事ができる事で、「手のかからない子」「愛される子」になる事が大切だと思います。
県外	■ 進学の不安
	・上級学校の支援体制もわからないし、小学校からの引き継ぎもどの程度していただけるのか不明で、またしても親任せになりそうで心配。（奈良県　小学校　通級）
	・読み書きの障害のため、入試等も心配ですが、新しい組織に入る度に順位付けのようなこぜりあいがおこり、その後のいじめに発生するのでそちらの方が心配です。（千葉県　小学校　普通級）
	・現在は、支援級で情緒障害１～６年、11名の子どもに先生3名＋介助員1名です。手厚いかなとも思いますが、ここから中学校に結びつくための不安があります。中学校選びは、どうするのか不安。通常級40名のクラスは無理だし、支援級は、知的・身体不自由のみしかないので、お友達なども、少し無理が出てくる（同じレベルの子不在？！）かなとも。テレビや新聞でもあるように、中１の不登校はとても多いとのこと。わが子のように自閉症がある子は、ここからつまずいてしまうのかなと。（？　小学校　支援級）
	■ 不登校
	・学校生活になじめず、不登校になっています。進学先がないと感じる。（愛知県　小学校　普通級）
	■ 勉強する時間
	・「勉強は、個別に合わせて指導します」と言われ支援級へうつりましたが、ほとんど勉強する時間がとられておらず、子どもも「つまらない」と言っております。進学してもっと勉強したいという希望を持っておりましたので中学進学の選択（通常級・支援級）をどうしたら良いのかとても悩みます。（東京都　小学校　支援級）
	■ その他
	・見通しがつかないことが不安。本人の希望が少しでも叶うように、親は環境を整えてあげたいと思います。わが子は、現在６年生で、中学を（公立普通級、支援級、私立）の中から選択するときに来ています。先日、市の就学相談（行動観察、面接）を受け入れましたが、果たして必要なものなのかどうか分かりかねます。内容について全く予告もなく、面接官の質問に答えるのですが、まず、その場につれてくるだけでも大変でした。そこも含めて親子が試されているようで負担に感じます。就学相談が必要な支援を見つけていくプロセスであることは理解できますが、希望する就学先の校長をはじめ特別支援教育コーディネーター等が、直接相談にのって具体的な支援計画をつくっていただく方が、本人も家族も一緒に準備が出来ると思います。教育委員会が間に入る必要はないのではないでしょうか。（東京都　小学校　支援級）

	・子どもがのびのびと学ぶこと生きることを楽しめる場を見つけられるように応援しているつもりですが、同調圧力の強い日本では、心配です。（東京都　小学校　普通級）
	・子どもの可能性を伸ばす教育（例：視覚教育など）をしてくれる学校などがあれば、そういった情報を小・中学校の掲示板やHPなどでも発表して欲しい。学校は、子どもの持つ能力、可能性をどのような方法で判断しているのか知りたい。（東京都　小学校　支援級）
	・コミュニケーションがとりづらいので（高機能自閉症）就労も大変です。しかし、今は、前向きです。考えてみれば、小・中と悩み抜いた結果、今があるようです。可能性に向かう努力と強さがないとなかなかやっていけなかった過去がありますが、今、ようやくなんとか社会人になれそうな気持ちを持っています。現在の学校は、子どもにしっかり寄り添っており、私は満足しています。きっと、今までの沢山の苦労や悲しみを経ての結果でもありそうです。（東京都　専修高等学校）

Ⅸ. お子さんの学校（幼稚園）生活で感謝していること、困っていること　（なにかひっかかっていること）をどんな小さなことでもかまいませんので、ご自由にお書きください。

■感謝していること

未就学	■感謝
	・細かな支援計画を作成していただき、保育士・ＯＴ・ＰＴ等、園内で連携して支援していただいておりとても感謝しています。
	・定期的な面談時・登園日に先生方から子供の様子を教えていただいたり、支援方法の提案・相談ができて感謝しています。
	・特性を話しているので、子供に応じた対応をしてもらえて感謝しています。
	■相談出来る場所
	・以前は相談する所も、人も周りに居なかった為、不安がたくさんありました。療育を受け始め、他のお母さん達や先生と知り合い、小さな事もすぐに相談できるようになってとても楽になりました。
市内小学校支援級	■先生に感謝
	・今の担任が良い先生で感謝しています。
	・新しい２０代の先生が今年度から来てくださり、その先生のおかげで学校へ通えています。優しい先生でベテランの２人の先生より（臨時の先生だと思いますが）お考えがしっかりしていて、向上心があり、色々と吸収しようとしていて親の話もよく聞いてくれ、前向きに考えてくださいます。
	・支援級の先生が勉強を教えてくれるようになって良かった。
	・感謝している点は、いろいろな行事に先生がついて参加出来る点。
	・若い先生がとても誠実に対応してくださる点は有り難いと思います（交友関係で見て欲しいことがあり迅速な対応があった。）。
	・一時期、特定の子たちにいじめられていた時も、すぐに動いて解決してくれた先生がいること（今ではその子たちも助けてくれることもあります）。
	・息子にあった学び方を模索してくれる先生。
	・無理矢理何かをさせることはなく子どものペースに合わせて接してくださっていることです。自然とふれあったり社会科見学など（公共の電車・バス）使っていろいろな経験をさせてくれています。
	・家ではできなかったかもしれないことを身につけさせてくれた。トイレトレーニング（保育園で）、洋服のたたみ方（小学校で）、ぞうきんのしぼり方（小学校で）。
	・人格を認めてくれているので、自分に自信を持ち積極的に挨拶もできるようになりました。できること、できないことの差がありますが、できないことは、個別でフォローしてくれています。
	・支援級のA先生が我が子のように、うちの子を心配し可愛がってくれている。おかげで、保育園の時よりも、驚くほど会話、勉強が伸び、普通の子よりできる部分もあります。食育にも積極的に指導していただき、なんでも食べれるようになりました。
	・集団保育では好きな物しか食べないひどい偏食だったのですが、粘り強く相手をしてもらい、今、少しずついろいろなものが食べられる様になり、感謝しています。
	■介助員さんに感謝
	・入学したときにお世話になった介助員さんが６年間ずっといてくださって安心して学校生活がおくれています。１、２年で異動してしまうのではなく、できれば６～７年は同じ学校（支援級）にいてほしいと思います。
	■校長先生に感謝
	・今年度から今の支援教育のことをわかってくれる校長が来てくださりどうにか変えてくれようとしているので感謝しています。
	・今の校長先生がやる気のある人でよかった。
	■小学校に感謝
	・小学校も今のところすごく熱心に見てもらっています。
	・学校生活で、沢山のことを学んだので先生方には感謝しています（家では教えられないことなど）。
	・沢山の先生に気にかけていただいて感謝しています。
	・支援級の先生方、校長先生（ご自身のお子さんにも障害があり）の考え方、学校をあげて支援していこうという方針はとても有り難い。
	・安心安全な環境で手厚く子どもを見てくださり、子どもも居心地が良く学校に通えていること。１年生だということもありますが、いじめや不登校の問題が今のところないこと。
	・学区外の学校でお世話になっております。とても手厚く見ていただいているので感謝しています。学校全体で支援級の子どもを応援していただいています。入れて良かったです。
	・小学校入学時、アニメをみてごろごろ寝転ぶ支援級にショックを受け「支援教育」について、きちんと認識いただきたかったために奔走しました。学校との話し合いを重ね、時に子どもと生きていていいのか？悩むこともありましたが、時間を重ねご理解いただき、今、うちの子の通う支援級は、相模原市で、５本の指に入るほど「支援教育」にたけているという自負があります（ただし、残念ながら主任の先生が理解に努めてくださるおかげですので異動とかなれば難しいのでは？と思わざるをえないのですが・・・）。
	・小学校の支援学級に在籍していますが、校長先生・担任の先生、介助員さんの理解を得られています。
	・やる気のある先生に支援級を受け持ってもらい、寛容のある先生に交流級でお世話になっています。ほとんどの先生にほめてもらい可愛がってもらえて幸せな学校生活を送っていると思います。学校長の支援教育への理解ある気持ちが大切だと思います。（無理解な学校長の在籍中は苦労しました。）

	・子どもにあわせて対応していただけるので本当に感謝しています。先生方や友達、保護者のみなさんとの出会いにも感謝です。
	■交流
	・先生・交流のお友達など受け入れてくださっているので、有り難く思います。健常者の理解が、一層深まればと思います。
	・今まで、大きなトラブル（お友達との）もなく交流も多いので、その点については、担任と介助さんに感謝しています。
	・交流はよくやってくれていて交流の子がフォローしてくれることも多く感謝している。交流級の先生も今のところ良い先生に当たっていて理解してもらえている。
	・交流級へ通級もできていますし、社会科見学等、必要な学習もできています。
	■幼稚園・保育園に感謝
	・幼稚園に通っていたとき、陽光園の方が見に来て様子を見ると「無理そうだから幼稚園をやめて陽光園に来た方がいい」と言われ悩んだところ、幼稚園の方々が真摯に相談にのってくださり「うちの園から卒園させます」と力強く私にも陽光園の方にも言ってくださったことがとても嬉しかったです。結果的に多動も収まり楽しく３年間を過ごせました。
	・とにかくよく見ていただきました。幼稚園でもトラブルなく過ごせました。
	・保育園では、他のお子さんと同じように生活させていただき活動の参加制限もなく感謝しています。
	・保育園は３才の時から卒園までピノに通っていました。うちの子のように自閉気味だったり発達や言葉、行動が遅くてもその子に合わせて促してくれたり、木のぬくもりが感じられる優しい色合いの部屋や水彩画などやらせてくれたり、決して無理強いせずにのびのび安らぎを与えてくれる心を育ててくれるすてきな園でした。支援計画やささやかな相談など、よく私の話を聞いてくれる子どもと私には向いている園でした。
	■その他
	・現在、楽しく通学して集団生活を通していろいろなことを吸収している様子です。いろいろなタイプのお子さんが集うクラスで、先生方も大変だと思います（感謝しています）。
	・上級学年の児童と共に授業を受けることがあり、いい刺激を受けて自分の学年以上の勉強に興味を持ち、先取り学習できるところはいいなぁと思います。
	・知的に遅れがあるといわれ（見たかんじや応対の仕方では他の方に気づかれない）友人関係はどうなるかと心配していましたが、助けてくれる友達、母達がいること。いろいろな人たちに関わってもらえて助かっています。
	・こだわりが強く、パニックもあり、入学前から校内見学、入学式前日の体育館の見学（紅白幕、飾り付けで雰囲気も違うので）という配慮を校長先生にして頂き、本当に感謝している。
	・誉めても素直に喜べず、怒り出していた子どもに対して、誉める事が出来ずにいたが、ことばの教室の先生や担当医師などに、誉められた事で少しずつ子どもが変わってきて嬉しかった。いつも周囲の人に「すみません」と謝ってばかりで正直疲れきっていたので、いつも温かい言葉で応援してもらい、感謝している。
	・最近、担任の先生が子どもをよく理解し、サポートしてくれるので友達からも優しい言葉をかけてもらえたり、出来ない事を手助けしてもらえる様になった。嫌な事も多いが、たくさんの人に助けてもらいながら親子で頑張っていきたい。
	・普通級の担任が、支援教育に関わったことのない先生です。事前に情報提供していたので、よくしてくれる。
	・特別な支援を受けている訳ではないので、パニックになった時の対応が難しいようですが、その都度、説明とお願いをすると、次回から対応して頂けるので助かっている。対人関係が苦手なので、何かがあると間に入ってもらえるのでこちらも助かっている。
市内 小学校 普通級	・細かな支援計画を作成していただき、保育士・ＯＴ・ＰＴ等、園内で連携して支援していただいておりとても感謝しています。
	・定期的な面談時・登園日に先生方から子供の様子を教えていただいたり、支援方法の提案・相談ができて感謝しています
	・特性を話しているので、子供に応じた対応をしてもらえて感謝しています。
市内 中学校 支援級	■担任に感謝
	・担任の先生方が熱心に向き合ってくれる。毎日保護者と先生の間で連絡帳のやり取りをしているので、家や学校での様子や小さな疑問など、共通理解がはかられて素晴らしいと思う。また、娘個人に合わせて、交流学級に行く頻度や時間など、子供のことを良く理解していつも的確な判断をして頂けていると感じている。
市内 中学校 普通級	■感謝
	・中学校にサポートルームがあったこと。
	・いろいろ言いながらも、重たいカバンを持ち、休まず学校に通ってくれている娘に感謝している。
	・幼稚園で陽光園に通級し、小学校でことばの教室に通級していました。医師の勧めで中学受験をし、現在、私立中高一貫校に通っています。私立でも先生方に障害を理解して頂き、スクールカウンセラーにかかりながら、通学出来ているので、恵まれていると思います。
市内 特別支 援学校	■感謝
	・楽しく過させてもらっており、感謝しております
	・今は養護高等部分教室で子供もとても楽しく通っています。
	・中央支援学校はとてもいい学校だと思います。４つの部門が互いに連携し合って生徒や親を支援して下さっています。
県内 未就学	■相談出来る場所
	・以前は相談する所も、人も周りに居なかった為、不安がたくさんありました。療育を受け始め、他のお母さん達や先生と知り合い、小さな事もすぐに相談できるようになってとても楽になりました。
県内 支援級	■担任に感謝
	・クリニックの診察に担任が同席してくれました。（小）
	・先生が一生懸命、子どものことを考え、指導してくださるので感謝しています。（小）
	・学習面は、いろいろ細かく教えてくれています。（小）
	■校長先生に感謝
	・校長先生が、よく話を聞いてくださり、前向きに対処してくれる事が多い。（小）
	・校長との話し合いでは、校長先生から「〇〇くんのために、遠慮なく引き継ぎする。ケース会議をする。前担任に授業を見てもらう」等、提案があり親としては、思っていたより進んだ形を提案していただき感謝している。（小）
	■学校に感謝
	・今、子どもが荒れているのですが、個別級の先生だけでなく、校長先生や授業中、職員室に残っている先生方が気にかけてくださっています（飛び出しなどが多いので）。（小）

	・愛川町の小、中学校に通っていますが、交流がとてもうまくいっている。クラスの一員として、子供達も先生も考えてくれ、少しでも一緒にできることがあれば参加している。小学校の時は、学年を超えて沢山の子供達と関わってこれた。中学校では思春期の子供達は、うちの子を避けるようになってしまうのかと心配だったが、よい介助員に支えてもらいながらも、とても楽しく交流できている。クラスの子ども達は、自主的にうちの子どもがどうやったら一緒に学校行事（遠足など）できるか、考えて行動してくれていることに、とても感謝している。（中）
県内 普通級	・担任の理解があり、辛いことを強制させられることがない事は感謝している。(小)
	・支援教育は受けていませんが、子どもに対して、学校の先生がよく見て下さり、本人と１対１で話してくれたりして、ものすごく助かっています。（小）
県外	■ 担任に感謝
	・子ども達の失敗や間違い等、悪い事を指摘していく先生から子ども達のいいところや素敵だなという点を一つずつ、みんなに伝えてくれる先生に担任がかわったとき（通常の学年があがる人事です）クラスの子達がみんな明るくやさしくなり、その急激な変化に驚きました。ひどかったいじめも減りました。支援体制を整えることも大事ですが、支援が必要な子にも、必要のない子にも心の部分を支えてくれる大人が学校や周囲にいることって、本当に大切なことだなと思いました。（千葉県　小学校　普通級）
	・情緒障害のある子どもが、一つのクラスにいるため、当然ではありますが子ども同士、共通の遊び、好みがないと通常級のお友達との遊びをさせたいと思うことが。しかし交流へ行くと、勉強や集団の中では困難・苦痛を感じるため、本人としてもどちらがいいのか伝えられずと言うことが多いようです。先生方が細かく対応してくださってます。今は中学校選びが悩みです。（？　小学校　支援級）
	・支援学校へ通っています。専門性の高い熱心で的確な指導をしてくださる先生に支えてもらっているので、大変感謝しています。ただ毎年、支援学校PTAから行政に要望している。（東京都　支援学校　小学部）
	■ 医師に感謝
	・私の子は高２です。小学校のころ、特に低学年の頃、通常級より何度も追い出されそうになりました（被害妄想？）。2年まで付き添いました。3年の時の担任が力のある方で、応援してくださり周りの態度が一変しました。私はやっと楽になりました。付き添いはなくなり、週に何日か学生ボランティアに入っていただきました。まぁ、いろいろ事件はあったのですが無事卒業。中学生活となりました。1年の時の担任は、よかったです。心をもって接してくれました。しかし、2年の時、明らかな特別扱いをされ、浮いてしまいました。３年次、1年の時の先生に再度もっていただいて、何とか卒業しました。いろいろあった中学時代でした。でも、良い経験もいっぱいしたはずです。だからよかったと思っています。 　私、思うのですが、担任が味方になってくれないと、とても苦しいのではないかなぁと。「知識」というより「心」をもって子どもとつきあう気のない先生はなかなか難しいです。先生の「心」が他の生徒達も不安にします。私は今更ながら、担任の先生は、まず「心」でつきあう気持ちを持っていただくのが最も大切で、そこから「知識」につながる気がします。「知識」が外れていることもたくさんありました。しかし、やっぱり３才から小口先生・最上先生に出会い泣き虫の母親が強くなったことには感謝しています。（東京都　高等

■困っていること・心配なこと・要望

市内 未就学	■ 驚き
	・療育手帳(軽度Ｂ２)を持っているが、園長に「初めて見た。コピーさせてください」と言われた時はややびっくりした。療育手帳は教育者でも知らない人が多いのかな？と思いました。
市内 小学校 支援級	■ 理解がない
	・睡眠障害への理解がほとんどない。説明を重ねても「早寝早起き頑張ってください」でかたづけられてしまします。入眠・起床が難しいこと。日常生活へ支障をきたしてしまうこと怠けて眠っているわけではないこと…など、全くと言っていいほどほとんどの先生に理解さ
	・もう少し交流へ行けるように先生の数を増やしてもらえると嬉しく思います。
	・同学年の子と比べ、発音が不明瞭で上手く話が出来ないので、友達との会話が成り立ちにくいのですが、その事もあってか、ばかにされたり頭がおかしいと言われたりします。本人は、頑張って話そうとしているのに、こういう言葉を言われてしまうと黙ってしまい、結局、コミュニケーションをとることを避けようとしてしまいます。近所の子なので、つきあいを避けることもなかなかできず、親として心が痛みます。学校での支援体制がよくても、健常児の子やその親たちが障害のある子の理解や知識に乏しいので、説明することに疲れます。
	・毎日の登下校の送迎が基本であるのですが、他児の親から、自分の子もお願いしますみたいな感じもあり、そういう面で、精神的にしんどかったりします。もっと学校で他児やその親に対して障害者への理解を促す場をつくって欲しいです。
	・子の障害や特性をよくご存じない先生もおられるようで（担任でないので当然ですが）接し方に「？」と感じることがたまにあります。「発達障害」がクローズアップされているため、本人をよく知らなくても発達障害（知的障害はない）と思い込まれているのでは？と感
	■ 人手不足
	・職員の人数に不満あり。人数をもっと増やすべきです。
	・支援級へ来られるお子さんが増えているのに比べ支援される先生の数は、かなり少人数子どもの人数は多く一人一人を個々に見ることが出来るのか？
	・やはり「支援級」にいるので、その子に合わせて向き合う時間があってほしい。人員不足（予算）が問題のように思えます。他校では積極的にボランティアを入れたりして子どもの学習にも１対１に近い環境と聞いたりすると、何故違いがあるのかと疑問に思います。介助員を増やすことで、支援級の担任教師にも対個別の工夫をする余裕も生まれるのではと思いますしそうあるべきだと思います。自分の子どもが通う学校に、ボランティアを入れる・介助を増やすにはどうすればよいか？又、それによって現場の教師が返って負担になるのか？束ねる力量がない？？人手不足により教師に個別の対応する余裕がないように感じることがある点を不安と感じる。
	・学校の体制はよく整っているが、支援級の人的パワーが絶対的に不足しているので、どこかにしわ寄せが来る。それが学習指導の個別の対応への対応の甘さ（結果として）になっている（または個々の危機回避面や児童同士のトラブルへの適切な対応あたりにしわ寄せが来
	■ 学校体制
	・先生が全員変わってしまい、まだよくわからないというか、全ての先生が異動や新任で来られた先生という点がどうかと思う。先生同士で上手く回せているのか？余計な心配までしています（実際、気になる話も聞いたため）。
	・先生方も忙しく大変なのはわかるが、もう少しゆっくり話がしたいと思うことがある。支援教育は、支援級の先生のみが行うことではなく、通常級や学校全体の協力体制があって成り立つものだと思うが、その体制はまだまだ難しいという場面を目の当たりすることが多
	・子ども達や保護者の前で、支援級の先生が支援級の先生を叱る（怒鳴る）のはやめてほしい。先生が先生を指導するのは必要だが、保護者のいる前ではどうかと思う。きっと日常的に子どもの前でも先生を叱っているのかな…と感じる。
	・本人が出来ることは本人にさせたいが、支援級と言うことで登下校など1人で出来ない。させてもらえない。
	・より良い環境で学んで欲しい。
	・新しい先生は良い先生なのだが、副担任なので力を発揮できないのがとても残念です。
	・それほど深刻にとらえているわけではないのですが、なんとなく隔離されている感があるような…（教室の位置、下駄箱も少し離れているので…まぁ、先生がしっかり目配りできるようにそうせざるをえないのは分かりますが）。
	・連絡事項を忘れることが多い。

・子どもが嫌がると交流へ行かず、１学期はほとんど行けなかった。

・夏休みの宿題が全くないと知ったのが最近ショックでした（家庭でのお手伝いが大切とのことです。）。

・水泳時、プールに入れず見学の場合（午前中、水泳のため）午前中は休んで、午後から学校に来るようにいわれました（見学の児童にまで、先生が見ていられないため）。今のところ、水泳を休むことはありませんが、支援級だからと言って休んでほしいとはあってはならないと思います。

・現担任も、自分のやり方でやりたかったのか…。知識がないのはしかたがないし、分からないことが多いのも、初めは、しかたないこともあるかもしれないが、子ども達一人一人のために、考えたり、動いたり寄り添える先生に、担任になって欲しい。

・支援級に在籍していますが、支援級の先生方の知識や対応の仕方が統一していなくクラスによって子供達の成長が違うので納得できません。

■ 指導・支援（先生の対応）

・本人が出来ること（時間がかかってもできること。少し工夫をすればできること）でも、お友達にサポートさせていて、親や先生方は、その光景をみて「ほほえましい」と感じていたようですが、正直な気持ちとして本人が出来ることは1人でやらせてくれたらいいのにと思っていました。

・朝、子どもを送っていって身支度を親がそれぞれの子どもについてさせます。遅刻したときも親が教室に入り同じようにします。授業中なのに、先生が教室のところで子どもを迎えて親が入らないでいいのではないかと感じている。他校はどうなのか？嘔吐したときに服などがよごれたらビニールの袋にそのまま入っていたらしく下洗いなどしてくれない。他校はどうなのか？

・支援級で、パニックを起こす友達の対応が問題があるのか？怪我をする子が多いそうです（本人を除いて一人以外、病院や保健室に行ったことがあります）。

・通常級のお子さんに「迷惑がかかるから」という表現は、毎回ひっかかります。

・先生の口調がとても乱暴で不安。本人も悪いことをした様子ですが、何度も保護者から「先生に叱られて泣いているよ」と話を聞いた。

・ベテランの先生2名が、支援教育とはなにか？や障害特性を解らず、うちの子は2次障害になってしまった。校長先生が、支援級の先生の特殊学級的なお考えをかえるのはとても難しい。今年度は無理かも（二人とも50代後半なので）とぼやいた。向上心が全くない。個別指導計画書を校長先生に入ってもらい作成してもらったが、計画書に添ってやる何度言ってもならないから困っている。

・子ども達、親が、時に先生の顔色を見て接することが、たびたびあるので、悩んでしまう時があります。

■ 指導・支援（学習内容）

・七夕飾りをつくる授業があり４年生でその授業はどうかと思った。休み時間ならわかるが、授業となると養護学校のようだと思う。個人差もあると思うが、七夕飾りをつくるグループと七夕について調べ学習するグループにわけるなどしてくれれば良かったのではないだろうか？どうしても「みんなー緒」と「幼稚園的な工作」の意識が先生にあるようだ。

・それぞれの子どもにあった教育がされているのか？言葉の理解のあるお子さんとそうでないお子さんがいて、先生がみんなに同じことを話してもわかる子はいいですが、わからない子はどうすればよいのか？支援級のレベルが高すぎて正直ついていけない。これでは、普通級のレベルとかわらない。学校に通い始めてから毎日、不安定で正直困っている。子どものハイレベルすぎていないか？毎日不安。いっぱいあるが、これくらいにしておきます。

・個別の指導計画が表面的なものになっている。「楽しく～に参加する」「～をやってみる」「あいさつできる」など、あいまいな表現をやめて欲しい。具体的な方法、例えば「算数の〇ページ」「長さを測る」「はかったものを比べる」「cmの書き方を習得」「単位の読み方」これを〇月通に〇回学習、というように親もサポートできるような計画を望みます。計画が充実すると８０％は完成といわれます。はじめは大変な作業ですが、その後は先生も楽なはず。行き当たりばったりだとクラス内もメチャメチャになります。

・勉強も進まなかった。勉強などのやり方は、普通級のやり方なので工夫をしない（今までみんなー律で勉強という頭でいたのでよけい）

・先生が精一杯の気持ちでやってくれてもうちにとっては望むべき授業の形にならない。ならないことによってうちの子どもはのびない。明らかに持っている知的能力が封じられていく。先生に多くを望めば、先生の心身を壊しそうに感じるので強くは言えない。子どもの成長を犠牲にして我慢をするしかないのでしょうか？これが、個別に対応した特別支援教育をいえるのでしょうか？

・支援級の担任が、個別の時間、プリント以外させてくれない。勉強が進まず後退している。

・災害・避難の冊子が、昨年も今年も「高学年向け」のものが配布されました。内容が難しく全く理解できないし、授業でどのように使われるのかもわかりません。

・私の子どもは、普通級と支援級の間の子ですが、支援級と支援学校の間の子も多くいます。支援学校の判定で支援級に来ている子に手がかかり、また、同じレベルの指導をされたり（支援学校判定の子が理解できないという理由で）納得できない事が多々あります。

・個別指導計画をたてて指導されているようですが、実際にじっくりみたことがないですし、計画、評価など面談もしたことがないですし、計画表はいかされていないです。なので、本人にあった学習をしているのか不安です。何となく毎日を過ごしているではないか？と思ってしまう。

・ペースをあわせてくれていて本人も楽しいようですが、もう少しあった学習方法をしてもらいたい。

■ 交流

・残念に思っている点は、普通級の生徒とほとんど遊ぶ時間がもてない点です。1時間目が、校庭に出て（支援級のみ）遊べるのですが、昼休み、全学年が校庭に出て遊んでいるのに支援級の子ども達は、プレハブで遊びます。先生が、広い校庭で見きれないからだと思いますが、天気のよい日にプレハブで遊んでいるのを見ると寂しくなります。

・先生は優しいが交流が少ないので同じ学年の子と遊ぶ時間がない。昼休みは、外に出ず支援級の教室で過ごしている。個人的には、体力が有り余っている子どももいると思う。

・低学年の頃は気にならなかったのですが、高学年になるにつれ内容が難しく、交流へ行く意味が分からなくなっています。特に、５年生の時の「水俣病の講演」は全く理解できず、本人も退屈で辛かったようです。理解できる内容（低学年のものなら理解できるのに高学年だから高学年のことしかやらせてもらえない）の授業や講演を受ける機会がないのは、とても残念です。

・交流級をはじめ普通級の先生には、今ひとつ、協力体制が感じられないというか積極的に関わろうとする姿勢が見えてこず、所詮、他人事なのかな、と思うことが多々あります。それでもうちの小学校は、恵まれている方だと思うのですが…（介助員さんの人数とか）。

・昨年、支援級の子が、交流級でいじめにあっていたとのことを最近知り、ショックを受けました。現在は学年がかわり、クラスもかわって、いじめはないようですが、どうして長引かずすぐ解決できたのか。もしかして、自分の子どもも同じような状況にあったら、どうすればいいのか？不安になります。

■ 先生の資質

・子どもはなついているが、男性の教師が、母親である私に対して、無神経な言葉やセクハラとも思える言動、行動がたびたびある。ただ、子どもには害がないので学校には言えないが気分を害する。

■ 中学校への不安・不満

・一から「支援教育」について、保護者がアプローチしないとなりません。教育委員会からは、教育委員会の指導に「強制力がない」と言われています。折角、教育委員会の方が、間に入っていただいてもうまく話し合いができないと聞いています。

・「話しあいましょう」と保護者にいってくださっても学校側が、話をする姿勢をつくってくれないと聞きます。

・進学予定の学校のママが、支援級で授業（美術）で、そのお子さんの課題が早く終わったらジブリのアニメを見ていたと子どもが言っていると言う話をを聞きました。小学校での悪夢がよみがえってきました。

・障害のある子に対しての（学校と保護者の）認識が違うこと本来の「支援教育のあり方」をきちんと基本としてお持ちではないこと。

・教育委員会が「個別の指導計画」の重要性を伝えても、ただ提出する書類という認識でしかなく、活用するために子どものためにという視点がないので内容が薄かったり保護者に見せることをしなかったりされる。

・「支援教育」から約６年、次は中学進学のため動いておりますが今まで卒業された先輩ママのお話を聞くと折角、小学校の先生が時間をかけて支援について中学側に引き継いでいるにも関わらず、中学では「学校側のルール」を押し出し「個々に応じて」という点に目を向けていただけない。

・小学校で、子どもに応じた各教科ごとの課題をきちんと掲げた「個別指導計画」をもって進学すると中学の支援級の先生に「こんなに細かくつくれません」といわれ、子どもに応じたものではなく、連絡帳なのか？という中身、各教科ごとの課題もなく評価もなく何を考えて授業を組み立てているのか？（だから時間があまれば　アニメなのでしょう）

・小学校は読み書きの学習で何とかなっても、中学校ではどんな学習を指導されているのか知りたい。交流もほぼない状態であれば、ずっと支援級で、狭い空間で学習を一日しているのかな？と思うと不安になります。

・（中学を見学して思ったこと）支援級のクラスに一人重度の子がいると、先生がその子に付きっきりになり他のその先生が見るべき生徒がほったらかしになる…という状況があるように思います。そういう状況になる時は、先生を増やしたり、その子に、支援学校に転校してもらうなど、状況を改善するようにしてもらいたい。

■ 中学校へ要望

・約６年間の小学校生活で、「話し合い」なくして進歩はないことを身をもって知っています。どうか中学校（及び小学校）でも、「話し合い」をすることの重要性を学校側に理解いただきたいです。

・小学校から中学校へうまく引き継げること　子どもに応じた正しい支援をしていただくこと

・個別指導計画に添った少しだけ上の課題を意識した授業の組み立て・内容

・個別指導計画をきちんと活用し評価し、また、次へ活かすことにつなげる

・基本となる底辺の支援（視覚支援など）当たり前にどの学校でも受けることができる

・中学校の支援級は、指導の仕方や指導内容にとてもばらつきがあり、学校による格差が激しいと聞きました。それを他にチェックする先生や外部機関等を利用して、どの中学校の支援級に進学しても同じ質の教育が受けられるようになるといいと思います。

・現在、児童クラブを利用していて、大変、助かっております。中学になったら、利用できなくなります。どうしたらよいのでしょうか？うちの子どもにマンツーマンで、大人がついているので、このまま延長できないのでしょうか？長期休み（夏休み）の利用だけでも可能にして欲しいです。

■ 教育委員会に望むこと

・教育委員会に望むとしたら「個別指導計画」は、小学校→中学校とか学校向けですが、そうではなく、障害児の親のための冊子　４才～２０才のながれがほしかったです（幼稚園～小学校～中学校～高校、保育園～支援学校～職業訓練など）。中学はこの時期見学に行ってとか、この時期に教育委員会から連絡が来る、決定とかどの年齢で、どの時期に就学相談があるとか、この時期、ここへ相談とか…先読みできる　全ての障害をもっている親が見通せる年表みたいなマニュアル的な。１０年かければ　立派な小冊子になると思います。

・きちんとした「ガイドライン」をつくっていただき「支援教育の意識」の底上げすることが必要であると感じる。せめて、新・相模原市支援教育推進プランの「個別の指導計画」のレベルは、必要であるし、推進プランがガイドラインというのなら、保護者目線で作成する必要があると考える。

・新しい人材を育てて「支援教育」や「インクルーシブ」が浸透するようにまたは、そういった人たちが、今後、学校の支援教育のブレーンとして活躍できるようにすることで意味が出てくると考える。

・教育委員会は、「支援学校判定」の子を普通校の支援級に入級させる場合は、加配をつけてほしいです。支援学校判定の子は、知的級が多く、介助員加配もないのに、介助員がその子につくのが当たり前になっています。同じ障害を持つ親子でありますから、本来、このような不安や差別は、避けたいですが、我が子にも支援が必要なので悩むばかりです。

■ 学区外選択ができることを望む

・相模原市内の学校によって支援級のあり方が異なり、差がとてもあるのが残念です。子どもによって向き不向きがあるので、支援級や学校を選ぶことが相模原市でも出来るようになることを希望します。

■ 陽光園

・幼稚園へ通っていたとき、陽光園の方が様子を見に来て「今月いっぱいで幼稚園をやめてすぐに陽光園に」とかなり強引だったのでかなり困惑しました。

■ 相談機関

・うじうじ悩んでしまう性格なので、保育園の先生、南保健福祉センターの方、就学相談の方、お話を聞く機会や相談にのってもらえる場所があったのですが、通わなくなってしまうと行く機会も減ってしまい、アドバイスや話の共有、情報などするところがあれば教えていただきたい。

■ 高校の授業

・高校の授業内容（高校は支援学校）ですが、先日、見学に行き感じたことですが、重度の子には体力作りや日常生活の指導などはとても重要だと思いますが、中度～軽度の子にとっては勉強（教科の）時間が少なすぎるのではと思いました。

■ 学童

・仕事をしていませんが、病院の診断書を提出して学童に通わせていただいていたのですが、４年生になる時に、人数がいっぱいで入ることができませんでした。優先順位が1年生の働く人で、その子どもが支援級に通う４年生より優先だということでした。結局、学校が隅に新しく建物を造り、収容人数が多くなったので、９月の中旬まで待って入ることが出来ました。市の子ども施設課の方には、支援級の子どもが今までの場所で預からせてもらうことの大変さや１～３年生のこれまでの児童クラブで築き上げた人間関係の大切さを説明させていただき、これからは、優先順位を考えていきたいと言っていただきました。市役所の担当の方と意見が合わなかったり、話してもなかなか聞いていただけない現実を変えていけたらと思います。また、相談できる場所があるとよいと感じます。

・子どもが通っている児童クラブには、市の職員のいいなり「児童クラブの手引きの通りにしないと困ります。」の一点張りの職員がいました。そうでない職員の方もいて、自分の頭で考えて、この場合は、この子ならというように考えてくださる方もいたので助かりましたが、何かと市の職員の受けがいいようにこびているような方がいるのも現実です。

・児童クラブは、支援級の子がいると先生を増員しているようですが、専門の知識があるわけではなく、ただ先生がいるだけなので意味不明です。お願いしたいことも、すぐ忘れてしまうので、何のために増員しているのかよく分からないです。

■ その他

・だんだん周りの子供達も成長してきて、子どもの世界の中で、悩んだり、傷ついたり傷つけてしまったり…ということが出てきて、友達の中で少しながら我が子も社会勉強しているようです。私達、親も心を強く持ってかかわるすべての子どもを応援したり、見守ったり、時に叱ったりしながら地域で暮らしていきたいなと思っています。学校生活で、いい話だけでなく、かかえる問題点も伝えてもらえると一生寄り添う私達親もより子どもに必要な支援が考えられるのでどんどん伝えて欲しいです。

■ 教員の専門性のばらつき、無理解

・先生によって、知識に差がありすぎる。知識があっても積極的に進めようと思う先生と、そうでない先生や、知識が無いのに、気持ちだけ前向きな先生がいたりするので、子どもが困惑している。

	・知的障害児についての知識が足りないと感じる。ある程度厳しいのは良いが、子どもを泣かせてしまう事もある。もう少し違った対処の仕方があるのでは？と思う事がある。
	・グレーゾーンの子どもと先生が対峙していたり、支援級の子どもが脱走しようとしていたり、あちこちで理解を要する子どもが多い気がする。個性とは言え、今までの支援教育のノウハウがあるので、教職員全員に対する知識の場、勉強会などを増やし、一人でも多くの該当児がよりよい教育を受ける場が増えることを望みます。
	・教師の対応一つで子どもは変われると思う。きちんとその子を理解し良いサポートをすれば、素直に指示も入り、時には甘えたりします。たまに暴言もありますが、落ち着けば「ごめんなさい」と謝る事もできます。友達との関係も、周囲に理解してくれる大人がいるだけで、子どもも関わり方が違います。子どもの前担任は、理解をするフリだけで、サポートもなく、いじめられたり、周りの親子に責められたりして、今でも、悲しみと怒りを覚えます。
	・担任に子どもの特性を詳しく話したが、理解してもらえない。きれいな字には見えませんが、頑張って書いていても、何回も注意されるので、自信を無くしてしまい、ノートの字を隠しながら、授業を受けています。
	■人手不足
	・支援教育学習指導補助員の先生が１名いるが、校内に１名では学習面までのフォローはむずかしい。児童一人一人のニーズを把握した支援教育は、とても大切だが、今の現状では先生への負担が大きすぎると思う。
	■その他
	・すべてにおいて引っかかっている。小学校ってこの程度なのか？と言う感じ。
	・週2回の児童デイ、週１回の言語療法に通っています。学習面においては、学校のみでは不十分な為、教材を使いながら自宅でしています。
	■その他
	・現在通っている小学校は学校側の支援級に対する理解があるおかげで、出来る教科は交流級で同年齢の子どもたちと学習しています。関係も良好でみんなに混じって生き生きと活動しています。理科、社会も教科書の漢字が読めなければ、ふりがなを振れば、きちんと理解しています。テストも、問題の漢字が読めない所はふりがなを振ってもらえるので、50～80点は取れています。担任の先生も、介助の先生も、「自分で出来る事は、自分で。出来ない所は、出来ない所だけを支援」と言うように、きめ細かく関わって頂いているので、子どもも自信を持って活動できるようになりました。何より、交流級と支援級の連携がとれているので、連絡事項もスムーズに伝わってきます。本当にありがたいと思います。感謝しています。ただ毎年、来年度は担任は誰がなるのか、良い先生が来てくれるか心配しなくてはいけないので、誰が担任になっても、全く変わらずに同じ対応をして頂けたらいいと思います。理解のある先生は増えてきてはいますが、中には、未だ「クラスで手のかかる子」や「困った行動を起こす子」＝「支援級」という先生もいますし、「支援級に連れて行きますよ」と子どもを怒る先生も居るそうです。以前担任だった先生に「理解できてないようですよ。授業中は他の子どもにも迷惑がかかるし、支援級で教えてもらったらどうですか？」ちょっと声をかけてもらえると良いのですがとお話した所、「私は、30人もの子どもを見ているんですよ。一人だけに声をかける時間はありませんよ。」と嫌味たっぷりではっきり言われたのを覚えています。その後、２年間位の間、子どもは何に対しても自信を持てなくなってしまいました。その後、担任になった先生のおかげで、少しずつ出来る事が増えていき、今現在は、すっかり自信を取り戻す事ができました。先生の間違った行動や言動が障害児に対する差別や偏見を作りだしたり、障害を持つ子どもの自信を喪失させているように思います。こういう事のないような指導をお願いしたいと思います。 要望としては、教科書についてですが、ふりがな付きの教科書を、知的障害の子どもに使えるようにして欲しいことです。理科、社会も教科書の漢字にふりがなをつけることで、文字に対するストレスなく普通に学習することが出来るチャンスが生まれます。合理的配慮がなされるなら、ふりがな付きの教科書も子どもにとって必要だと思います。漢字が読めないから、学習させてもらえないというのは、子どもの持っている可能性を引き出す前につぶしてしまうことになってしまい、とても残念です。すべての障害を持つ子どもたちが、どこの学校に行っても、どの先生が担任になっても、きちんと障害を理解し、個々に応じて手厚く対応して頂けるようになれば、と願います。
市内 中学校 支援級	■理解がない
	・やはり専門の知識のない方が、障害児を毎日長時間みるということのムダさ。先生に考え方・子供の対処の仕方など、先に話したり教えたりしていかないといけないムダさ。言っても分からないや、もういいやと諦めてしまう親御さんも多いのもわかる気がします。小さなことでも出来るようになった喜びを共に分かち合って、障害について自分でも努力して学ぼうとい姿勢のある先生にめぐり会える事を夢見ております。
	・小学校時代、支援級に通っていました。先生方は本当に一生懸命やって下さっています。でも人手が足りず、ひとりの子の付き添いで交流の行事などに行ってしまうと、他の子が自習のようになってしまったり、個別の授業もひとりの先生が何人もの子供にそれぞれ違う内容を指導するのは不可能です。
	■専門性がない
	・特別支援教育になり、うちの学校の支援級のクラス・先生の人数が増え、集団と関わりは出来るようになってきたが、本人持っているいい所を引き出し、出来ないところを補って出来るようにするが、失われている様な気がします。先生の専門性が、あまり見られず(先生、統一感なさそうです)難しいと感じられます。
	・先生方には専門性がないので、学習面ではもっと子供を伸ばせる指導法があると思う。そのような提案をどのように切り出していけばいいのか　迷う。基本的には、先生とは仲良くなっていきたいし、お忙しいのはわかっているので、まだ　上記の話題は出していない。
	・今年の担任の先生は、障害について熱心に勉強されているのですが、先生によって、障害の事をわかってくれない人もいて、その年によって先生が変わる事で子供の様子が悪くなることもあるので困る。支援級の先生は、障害の事を勉強し、理解している人にしてほし
	・学区の中学支援級に見学に行きましたが、教室の乱雑さ・教師の意識の低さ(保護者の質問に答えられない)に閉口し、教育委員会にお話しさせて頂くこと8か月、ご理解頂き今は越境でバス通学しています。思った通り環境に恵まれ、子供も日々成長しています。子供には1つ高いレベルになじませ親が全力でフォローしてゆくこと(仕事を辞めることも覚悟しました)が大切です。最終的には子供が社会参加できる力を子供自身につけてあげること!それを目指せば良いのです。そのためにしていけることを考えるのは『今でしょう!』
	・昨年度、中1の1学期から『学校で勉強させてあげられないので、登校(通学)するだけ時間のムダ』と言われ、不登校になりました。本人は書字障害と自閉症スペクトラム(感覚過敏とそれに起因する睡眠障害)はありますが知的障害はなく、学習意欲も旺盛なので、中学での学年相当の学習を楽しみにしていただけにショックも大きく、半年以上脱力発作などの二次障害で苦しんでいました。その後も何回か、外部機関や相談センターの先生を交えて学校側と話し合いを持ったものの、『専科の先生は皆、とても忙しく個別に教えるような時間はとれない』という主張は変わらず、秋には進研ゼミでの学習を強く勧められました。このことからも、本人は『学校は自分を捨てた』と確信し、今後も戻るつもりはないようです。また、支援級の担任から、交流級へ障害について正しく伝わっていなかったらしく、せっかく代筆で提出した答案も『授業で言ったような字形で(漢字が)書かれていない』と×にされたりました。そもそも支援級の担任からは『交流級で"字が書けない"と言うな』と強要されたり、実際にはなかった問題行動を大声で叱責される等のストレスを受けたために、登校すると同時にフリーズするようになってしまいました。その様子を見かねた保護者が助けようとすると止められ『甘えているだけだから、放っておけばいい』と言われ、追い返されてしまいました。結果的にはこうしたやりとりが続いてしまったことで、子供を苦しめてしまったのが、残念でした。
	・教員の障害観を押しつけないでほしい。挨拶ができるようにとか、机に椅子をしまえるようにとか、確かに大切だが、勉強を教えられないから挨拶ばかり訓練しているように感じる。畑の授業も、普通級でやらないなら支援級でもしないでほしい。なぜ普通級でしない事を支援級でさせられるのか理解できない。

	・普通級では毎日毎日ボーっと一日をやり過ごすしかなかった息子。私が支援級を選んだのは『勉強できないからもういいや』というつもりではなく、普通級で受けられる以上の支援を受けたいと思ったからです。心配だったのは『逆に学習の質が落ちてしまうことはないか』『高校以降の進路を狭めてしまうことにならないか』ということでしたが、『個別に対応していくので大丈夫です』というお話を伺って”支援級の先生の専門性”に大きな期待を持って決断しました。小学校時代は『行きたくない』と言っていた息子もおかげさまで毎日不安なく学校へ通えてはいるのですが、どうも思っていたのはと違うな、と感じています。そこで息子に『ステップアップしてるのを感じる？』と聞くと『全く感じない。むしろ後退してるかも』と言うのでびっくりしました。勉強に対するモチベーションが下がってしまっている息子には、今の状態は楽で最高かもしれませんが、今後の事を考えると心配ですし、可能性をつぶしてしまっている気がします。気になる点は、 国語・・・書字困難なのにあくまでも書字にこだわり。ただ書けばいいという感じの漢字練習プリント中心の授業。プリントを毎日持ち帰ることをなぜか快く思っていない。 数学・・・５月の時点で個別指導計画書に『小３の内容はほぼ理解している』と書いてあったのに、１学期の間中　どの程度できるか確認する小３のプリントをしていて『新しいことやわからない部分を教えることはまだしていません』と言われた。 自立・・・多すぎる。体育も別にあるのにもっぱら運動をしている。公園の遊具を使う中学生の授業は一般的に見ておかしくないか(お子さんが一番喜んでやってますけど、と言われた)。 実技教科・少し多すぎ？美術でアニメ映画を見る。技術でペーパークラフト。家庭科で何時間もアイロンビーズ。 交流教科・『支援(別室受験・口頭・問題読みあげ等)があればテストを受けられるのでは？』と言うと『そういうことはできない。受けたければ受ければいいが、普通級の子の評価とは全くの別物』と言われた。また、交流に行くために国数の授業が受けられないのが気になる。希望は、支援教育の理念を絵にかいた餅にせず、個に応じた支援をしていただくことです。それには担任の先生のスキルと意欲が必須なので、経験もさることながら、新しい知識を実践していくことを当然の職業意識として持っている人材だけを使うことを真剣に考えていただきたいです。(実技の授業は教科の先生が入ってくれているようなので、担任は国数の先生だと良いです)そして、校長先生が先頭に立ち、学校全体が支援教育に目を向け、各教科の先生方もその専門性を生かすことにやりがいを感じてほしいです。支援級の子にも普通級でこまっている子にも、中学の３年間はとても短く、とても大切だと思います。
	・障害を持っている生徒を初めて受け持つ先生に対しては、最低でも受け持つ子どもたちが何（の障害）であるかぐらいは、知識として持ってから学習を始めてほしいと思います。
	■無理解による差別
	・今年の４月から中学１年生になったのですが、学校の部活動に入れてもらえません。通常級の子供さんと一緒が難しいのであれば支援級の子供だけで部活動のような事が出来たら良いと思います。
	・中学に上がる時に進学先の教頭とお話をする機会があり、①入学式は交流級で参加②机や下駄箱・ロッカー等も交流級でも用意③入学式当日のホームルームや教科書配布も交流級で参加など細々と打合せをした。が、入学式翌日の朝から交流を進めたいと申し出たところ『中ーギャップがあるから、クラスが落ち着くまで様子を見て　ゆっくりと交流を進めた方がいい』と言われた。中ーギャップはうちの子とは全くの無関係であり、教頭は親切心から発言されたと思われるが、私には『障害児がいてはクラス運営に支障をきたす恐れがある』と聞こえ、無理解による差別と感じられた。
	・小学校では水泳の交流をめぐり校長から『いくら上手に泳げても１年生が６年生の水泳の授業を受けることはできないでしょ。だから支援級で水泳の授業を受けるのは当然だ』と６年生の時に言われた。６年生が６年生の授業を受けられないのは当然なのか？障害があるとこのような発言も甘受しなければならないのか？
	・学年行事で博物館に行ったのだが、支援級の生徒だけが途中で帰された。その学年には３名の支援級在籍児がいたが、うち１名が体調不良を訴えたことにより、体調に問題の無いうちの子も途中で帰された。障害児だけが体調に関係なく途中で帰されたことは差別と感じ
	■登下校の負担
	・朝の学校への登校時ガイドヘルパーさんとの登校を認めてほしい。兄弟共に障害があり、２人を別々に送っているので、私の体が疲れてしまいます。このままだといつ病気になり家の事が出来なくなってしまうのではと心配です。
	■計画的・継続的な授業が受けられない
	・支援級の中で１～６年生まで同じことをするとき、やはり低学年のレベルに合わせますから、高学年になってもほとんど６年間同じ内容の事をするようになっていまいます。４月から中学の支援級ですが、いくつかの教科で交流に行くと、その時の支援級の授業が受けられないので全くできない教科が出てきてしまったり、教科が専門化しているので、通常級から支援級に先生が来てもらえない教科は、援級の先生では教えられず、ただドリルをやって答え合わせをするだけのような状態になっています。なので勉強面については自力でやって
	・定期テストがなぜか国語・英語・数学だけ。他にも社会・理科・体育・技術そして畑の授業もあるのに、定期テストがない。計画的にめあてを決めて学習しているなら、定着度もはかれるはず。なぜテストをしないのか。しかも受けたテストは一時的に返却されるがなぜか再提出を求められ、未だに保護者の手元に戻らない。通常級ではテストは本人に返却されるものと思うが、なぜ支援級だけ教員保管になるのか？
	■支援級担任に任せきり
	・現在、支援級担任は二人ですが、自分の担当の生徒以外はあまり熱心ではないように思います。担当の先生任せのところがあって、積極的に支援や関わりがないように感じます。
	■小学校との連携
	・中学入学後、すぐに支援が始らない。様子をみると言われ、観察され続ける。その間に通常級の学習は進んでしまう。小学校との連携をしっかりとって、無駄な時間を費やさず、入学したその日からスムーズな支援をして欲しい。
	■人間性に疑問
	・感謝していることは全くない。息子の本質を理解しようとしない。自閉とはこういうもの!と決めつけすぎ。情緒級の子供達の扱いや学習の仕方がまるでわかっていない。なのに研修などに参加する気がさらさらない。人のせいにした言い訳が多い。親がいわなきゃ何もしてくれない。それも一度ではなく何回も何回も言わないと動かない。中学は３年間と短い。ムダにしたくはない。
	・授業で書いたプリント類(支援級内において)が、１枚も本人あるいは保護者に返却されない。ゆえに何を学習しているのかわからない。プリント類の返却を求めたところ『重すぎて、お子さんは持ち帰るのを嫌がると思いますよ』と教員に言われた保護者もいる。
	・『中学校は小学校とは違って…』と支援級の先生だけでなく　教育委員会の方々もおっしゃいますが、教科担任制になること以外、何がそんなに違うのか理解できない。自分のスキルが低くてできない理由を『小学校は中学校とは違い』と言って逃げないでほしい。 ・実際『良い勉強になりました』と捨て台詞を私と子どもに吐いた先生がいます(現実に!!)。勉強になりましたと吐き捨てるのはかまいませんが、支援級を受け持つ時点で、その先生が来た時点から支援を受けなくてはいけない子どもは、すでに時間が始っているのに、支援をして下さる方が後を追ってくるとは、ご自身も情けないと存じますが、平気です。困った先生の事を校長先生に話しても、校長は　私を見る度に　話をする度に『すみませんね』と言うのみ。形として、どのような対応をしましたとか(具体的ではありません)親にはありません。それどころか、校長先生に対して、信頼感も無くしてしまいました。学校もあんな校長先生で悲しいです。良い伝統もくもりがかってしまいます。校長がそんななので、のうのうと能力の無い無駄な先生が受け持ちになるのですね。
市内 中学校 普通級	■心配なこと
	・笑顔で学校生活を送ってくれたら…という気持ちは根底にあるが、勉強ももっと出来てくれたらとも思ってしまい、本人にあれこれ言ってしまう。
	・今まで親の考えでの選択を本人に与えていたが、中学生になり、本人の意志(本当にそうかは不明確)もあり、何を選び与えていいのか、そうすることが、正解なのか間違いなのか判らない。
	■要望

	・公立中学校でなくても、ことばの教室のような所に通えたら、保護者も子どもも交流が出来て励みになるのでは。けやき体育館で、定期的に、公立、私立が混じって、市内在住の学生と指導してくれるスタッフが一緒にコミュニケーションの練習をしたり、スポーツの練習をしたりできないでしょうか？普通級、支援級、私立の学生、皆が参加出来るとありがたいです。中学生の時期に運動して、体力を養ったり、団体競技の練習が出来る事は、発達障害の子どもの助けになり、いじめを防げると思います。スポーツが出来ないといじめが始まります。協調運動が苦手な子どもたちが、その子に合ったペースで運動練習が出来る場の設置を検討して下さい。いじめが減少すると思います。
市内 特別支援学校	■理解がない
	・わが子に関わろうとしてくれる子どもたちが一番の理解者であるはずなのに、大人はそれを止めたり、邪魔して遠ざけたりする。まず、一人一人を理解することから始めてもらいたい。理解してくれない人の指示には従わないです。
	■教員の質
	・担任の先生が3名いらっしゃいますが、どの方が連絡帳を記入して下さってもこちらの聞きたいことの返答がイマイチ、トンチンカンで困っています。
	・クラス替えで、担任の先生の“当たり”“はずれ”があるのはいかがなものでしょうか！？面談の時に、机に伏せて寝てしまう様な担任、最低です。同席している残り２名の先生が、それについて何も言わないのはなぜ！？
	・中学の支援級はよくなかった。３年間同じ先生で、宿泊学習でも差別を受けた。個別支援は何度かいったが見せてもらえず、３年の時、教育支援というものを初めて言ったら見せてくれた。
	・先生の知識不足、経験不足、意識の低さに不満を感じています。個々の意識の向上と、専門知識・専門性のあるスタッフの学校への配置があれば良いのに、と思います。今は療育というより、ただの保育です。
	・学校という制度上仕方のない事ではありますが、毎年、先生の当たり外れは本当に感じます。たまたま今年は良い先生に当たり、子供もすごく成長することが出来ました。今の先生には本当に感謝していますが、今年度限りの付き合いだと思うと、本当に残念です。
	・小学校での支援学級では安定した学校生活を送れていました。教科書も先生方が、その子のレベルに合わせた物を選んでくれていました。先生方も障害を理解している方が多かったです。でも、中には障害に理解のない先生もいて、つい比べてしまいました。その時は比べて不満に思っていましたが、今は比べてしまい悪かったな、と。比べて不満を思う前に障害のことを理解してもらえるように何か伝えられることがあったのでは？と思っています。
	・中学校ではボーダーラインの子が多く、先生方も障害のことを理解していない人が多かったので苦労しました。多分ボーダーの子も、障害のある子たちのレベルに近いものをやることになり不満があったのでは？と思います。個別シートは小学・高校ではありましたが、中学校では見たことがありません。
	■学習の質
	・絵本のような教科書で役に立たなかった(学習は出来たので)。
	■要望
	・校外学習で電車に乗る時Suicaを使用しています。ご存知の通りSuicaには障害者用の割引がなく、正規料金で乗っています。学校の副校長にも言いましたが、学年全員、療育手帳を持っているのにもったいない限りです。学校からはSuicaを使うとスムーズに駅に入れる利点と一般的な生活体験をさせたいという願いがあると言われました。ですがSuicaを使って電車に乗る体験よりも、Suicaを使って切符を買い、手帳を見せて改札を通る体験のほうが、実生活に役立つと思います。障害者用のSuicaが出来ればいいのに、と思いました。小学校の支援学級時代は、手帳のない子がいたため、子供料金でした。
県内 支援級	■理解がない
	・先生方の障害についての理解不足。それにより、傷つくことが多いです。（小）
	・普通級の子供達に支援級の説明や皆同じであること等の説明が、なにもされていないので、分からない事からいじめや避けられる要因の一つとなっています。道徳の時間が各学年ごとにあるはずなので、そのような時間に子供達にわかりやすく説明いただきたいと思いま
	・先生達の理解が低すぎる。（中）
	・基本、介助員さんについてもらっているので日常生活は何とかなっているが、支援級の先生の理解がないので、先生に対しての不信感や不安が親子である。（中）
	■学校差・地域差
	・今年の学校生活にあまり心配はないのですが、引っ越しして、年度末までには、子どもを転校させないといけません。近隣であっても、小学校によって個別級の生徒数から雰囲気、内容、教育方法教師の力の入れ具合は違うように思えてなりません。とりあえずは、「見学！」と思ってはおりますが…校長先生も前のめり気味で怖じ気づいています…。（小）
	・たまたま、校長先生が理解ある方で良かったが、他校はひどい状況のようである。（小）
	■交流
	・国語・算数以外は、交流級でやっていますが、本人は、授業の内容をあまり理解していないようなので、無理のないようにやってほしいです。
	・交流に関しては、消極的で（普通級の）先生の支援級の子に対する考え方で交流するかの判断をされている状況なので、本人の希望や学習面の状態で問題が無さそうであったら積極的に交流させてあげて欲しいと思います。
	■指導・支援
	・個別級の先生のレベルが違い、クラスの差が激しい。担任の先生とひどくトラブってしまったので、本当はいったん別の先生にかえて欲しいが、子ども達の相性もあり、主任の先生も手のかかる子を多く受け持っているので、無理は言えず…。（小）
	・困っていることは、支援級の先生の指導力がないこと。専門性にかけ、個々にあった指導がわからずにいること。（中）
	・今は、担任に恵まれ、一つ一つのことに適切に対応してもらっていると感じるが、学習面に不安がある。本人の力に合わせた学習ができていないように感じる。（中）
	・現担任も、自分のやり方でやりたかったのか…。知識がないのはしかたがないし、分からないことが多いのも、初めはしかたないこともあるかもしれないが、子ども達一人一人のために、考えたり、動いたり寄り添える先生に、担任になって欲しい。（小）
	・支援級に在籍していますが、支援級の先生方の知識や対応の仕方が統一していなく、クラスによって子供達の成長が違うので納得できません。（小）
	■先生の異動に伴う混乱
	・毎年、小学校の支援級の担任が、結果的には代っている。昨年は、とても良い先生で、支援級は初めてで大変なことも多かったかもしれないが、子も親も穏やかに過ごせた。（産休明けで）（小） ・今年の担任は、異動してきた産休明け、支援級初めてで、４・５月でいろいろな問題が起きてしまった。（小）
	■学校内の対策
	・子ども達にとって色々な変化が起き、厳しい状況を伝えねばと思い切って校長先生に全てを話したが、やはり敷居は高く、どこまで話していいのかをすごく葛藤した。（小）
	・前担任も相談にのってくださったり、背中を押してくださったことも大きかった。（小）
	・コーディネーターが、相談役として活用できれば良いなぁとおもった。現在は、ケース会議の設定をするくらいのよう。（小）

	・6月から、コーディネーター、支援級担任で個別指導計画、支援シート、様式を新しくして作成してくれるといったが進展はない？（小）
県内普通級	・担任がひとりで奮闘している姿に、先生が潰れてしなわないか心配。支援が担任以外に及びにくく、中学が心配。（小）
	・会話も上手ではないし、コミュニケーションも苦手なので、友人関係に困る事が多いです。名前を呼ばれていても、故意ではないが返事をしなかったなど、周りの理解が低く、勘違いされてしまいます。本人が仲良くしたいと思う時もあるようですが、受け入れてもらえないのが現実です。本人の成長を待つのみだと思っています。（小）
	・学校が好きで毎日行っていますが、朝起きてから家を出るまでがグズグズなので困っています。（小）
	・クールダウンが上手く出来る時と、出来ない時にどう対処すればいいのか、アイデアがあったらと思います。(小)
県内特別支	・わが子に関わろうとしてくれる子どもたちが一番の理解者であるはずなのに、大人はそれを止めたり、邪魔して遠ざけたりする。まず、一人一人を理解することから始めてもらいたい。理解してくれない人の指示には従わないです。
県外	■学べる場がない
	・知的に障害がなく特別支援級に通っている子ども達は、学習に物足りなさを感じているのではないでしょうか？（わかるを含め）「難しい勉強は、家でやってね」と先生に言われてきた子どもに何とか学習支援の場を見つけてあげなければと考えています。お金もかかり、いつも中途半端な立ち位置で困っている子どもがつらそうで親も何とかしなきゃとつらい日々です。（東京都　小学校　支援級）
	■支援をすることを嫌がられる
	・「前例」をつくりたくないのか、支援するのを嫌がる。なるべく支援は、無しの方向で話をされ、結局、親がやらなければならない。親の負担が増える一方。（東京都　小学校　通級）
	■教室不足
	・教室不足、重度重複クラス数不足問題。（東京都　支援学校　小学部）
	■教科書
	・子どもにあってないのに配布される教科用図書について全く改善されない点は、残念に思っている。（東京都　支援学校　小学部）
	■学校に対してのあきらめ
	・小１から小６まで支援級に在籍しました。居住市に知的障害支援学級と普通級があります（また、普通級在籍のお子さんは、通級支援学級も併用できます）。わが子は、マイペースが強く、集団行動が難しいと学区の校長から言われ受け入れを拒否されました。付き添いをしなければ通わせることができないとのことでした。何度か話しあいましたが、疲れてしまい諦めて隣の学区の支援級に入学することにしました。そこには同様に知的障害のないお子さんが大勢在籍していました。唯一の救いは、子どもが楽しく学校へ通っていることですが、しかし、文科省の知的障害児のためのカリキュラムにそって授業が行われ、落ち着きのないタイプの子は、学力があっても放っておかれます。支援級のお子さんは、ほとんどが「公文」などで学習をしています。居住市の支援級の案内に「お子さんの状態によっては、普通級の授業に　参加することもあります。」と書かれていますが、親が言い出さなければ　学校から積極的に普通級の授業の話はでません（もう６年なので正直、小学校に対する期待もなくなってしまいました）。様々な法制度や先進的な取組の事例なども聞くことが多く、特別支援教育は、この数年で認知もされ、現場で頑張っている先生方の存在も知っています。しかし、まだまだ親が動かなければならない現状はかわらないと思います。（東京都　小学校　支援級）
	・学校は、積極的な支援をしませんが、それでよいと思うようになりました。支援がない状態で、登校刺激だけされるのは迷惑ですし、見当違いな支援は、子どもをだめにします。そういうことがわかってきましたので、学校の使えるところだけ使わせてもらうというスタンスで落ち着いています。学校もそれでよいと考えているようです。小学校卒業が近づいていますが、無駄な努力を含め、親子でいろいろ頑張ったと思います。利用者家族が満足できる「特別支援教育」は、当分、日本では実現できないと考えています。当事者家族の様々な努力が強いられる環境は今後も続くでしょう。親の会などが全国的に連携できると大きなカとなり何かが動くでしょうか。（東京都　小学校　普通級）